新京日日新聞
夕刊
十二月二十六日
本紙一部五錢　一ケ月一圓
定價　郵税一ケ月十五錢
廣告料金　普通一行一圓三十錢　特別同二圓五十錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

吾等が新舊全權を迎へ送る

力強い決意を胸に 南大將の國都入り
日滿顯官に埋もる新京驛頭 歡喜と感激の坩堝

關東軍司令官と全權大使の二位一体の具現者南大將一行は二十五日午後二時三十分着特別列車で長き邊りより御差遣の金侍從武官、菱刈大將、津田海軍部司令官以下陸海軍各幕僚、鄭總理以下各部大臣、各參議ら日滿顯官で埋むるばかりの新京驛頭に颯爽たる勇姿で晴れの都入りをした、驛貴賓室にて聖旨傳達を受け日滿各代表と挨拶を交した新大使の面は力強い決意が溢れ滿洲建設の將來に輝しい期待がうかがはれた、沿道小國民の叫ぶ萬歲の聲に喜びと感謝をたゝへて軍司令官々邸に向ひ少憩の後軍司令部で菱刈前大使と事々引繼ぎを終つた

新司令官入京 第二日の行事

國都に第一夜を明した南新關東軍司令官は廿六日午前九時半官邸出發新京驛に向ひ此日晴れの凱旋行へのぼる前司令官菱刈大將を固き握手と共に見送り歸路新京神社、忠靈塔に參拜官邸に歸着、直ちに同十一時より官邸に於て軍司令部、大使館、關東局の高等官以上の職員の伺候を受けた、尚午後は一時軍司令部に初登廳、司令官室に於て軍司令部西尾參謀長、大使館谷參事官關東局壚原秘書課長より夫々狀況報告を聽取した後貴賓室に入り軍司令部、大使館、關東局の高等官以上に對し夫々訓示を行ふ、右終つて同五時司令部を出發、谷參事官、吉澤、林州書記官、吉田秘書官を帶同全權大使の資格に於て外交部に赴き謝外交部大臣を訪問、五時半官邸歸着後謝外交部大臣の答禮を受け夜は官邸に軍、大使館、關東局の主要職員を招待晩餐を共にし、入京第二日の日程を終る豫定である

四平街通過 吾等が南全權

新任全權大使として晴れの國都入り新京に向ふ南大將は廿五日午後零時二十三分西尾參謀長以下多數の幕僚を從へ四平街驛着、出迎の岡村前參謀副長を車中に引見、直にあふるゝが如き元氣に滿ちたる赭顔の將軍は酷寒零下十度の寒氣をものともせず列車後部デツキに現はれ日滿官民在郷軍人會國防婦人會員小學校生千餘の歡迎者に對し親しく擧手の禮をもつて應へつゞいて國防婦人會員小學校長公學堂長並に梨樹縣長をデツキ近くに招き會の設立會員數生徒數、在留邦人數又は梨樹縣民數四平街の事情一般を僅に五分間にたづねらるる一般歡迎者は將軍の元氣と慈父の如き親切に深く感銘遙かに去り行く吾等の將軍の一路北上を送りつゝ感激のシーンを展開した

武勳輝く菱刈將軍 けふぞ晴れの凱旋
岡村前參謀副長も同行し 一路故國へ向ふ

前關東軍司令官菱刈大將は二十六日午前十時發アジアで日滿官民多數見送りの裡に故國へ凱旋の途に上つた、この日驛頭は滿洲國皇帝陛下より御差遣あらせられた金侍從武官を始め西尾、板垣正副參謀長津田海軍部司令官以下陸海軍幕僚、滿洲國側より鄭國務總理各部大臣、沈宮內府大臣ら各要人在郷軍人、國防婦人會員等各團体、各學校生徒がホームを埋むるばかりに、朝のつめたい空氣を衝いて響き渡る歡送砲、發車のベルもけたゝましく鳴つた定刻一分前昨日着任したばかりの南大將が驅けつけた、菱刈大將が窓から差し伸べた手を車外で固く握りしめた南大將、萬事を新司令官に頼んで發つてゆく菱刈將軍の面は今こそ朗々と輝いてゐた、軍樂隊の奏する樂の音も快く「やあやあ」と窓から手を振りつゝ菱刈大將と岡村少將、鶴見書記官一行を乘せた列車は一路故國へ向つた

菱刈大將 最後の登廳

「やあ永々御世話になりました」菱刈大將が二十五日午前九時半軍司令部に最後の登廳をなした際新聞通信代表者達へのお別れの挨拶だ、簡單とつたが、三位一體の最後の人の後姿には胸を打つものがあつた、殊に明日を期して看板を塗替へ永久になくなる關東廳の職員にとつては感慨一層深きものがあつた

―寫眞說明―

（上）入京した南新全權（擧手の禮を以て答ふは南大將）
（下）離京した菱刈前全權 ―いづれも新京驛頭にて―

北鐵交涉進展
東郷、カ兩氏の會見

【東京國通】北鐵讓渡交涉は廣田外相とユレネフ大使との間に大綱が決したのでカヅロフスキー參事官は廿四日午後二時より五時間に亘り東郷歐亞局長と會見、讓渡細目につき事務的な折衝を行つた、席上カ參事官は支拂についてはあく迄日本政府の保證を要求する、物資支拂については確實なる方法さへ發見されゝば敢て日本政府の保證を要求しない旨を述べ交涉は進展を見せて來た、次回會見は廿六日に行はれる

國際電話
通話開通式

【東京國通】遞信省では歐洲との國際電話の計畫を樹てゝゐるが廿四日のイギリスのラグビー局との中繼放送が好成績だつたので一月十日から本格的な準備にかゝり一月下旬には日英獨の三國間の通話開通式を擧行の上、一般通話の取扱ひを爲す豫定である、更にイギリスを中繼としてフランスに、ドイツを中繼としてオランダと其他通話する模樣である

在滿事務局 けふ事務開始
首相から趣旨を聲明

【東京國通】在滿機構改革案は廿六日關係勅令第四十九條の公布と共に林兼攝對滿事務局總裁以下の發令がある筈で林總裁の親任式後岡田首相、林兼攝總裁は官邸で對滿事務局事務開始祝賀の爲めに關係職員參集の上訓辭を爲し川越次長が答辭の筈である、尚政府では岡田首相談の形式で右に關し根本主旨を聲明する筈である

關東廳員に對する 拓相告別の辭

【東京國通】新機構實施に當り兒玉拓相は二十五日關東廳員に對し左の如く告別の辭を述べた

茲に對滿行政新機構の官制成り關東廳從來の事務及ひ職員擧げて關東局に移管せらるるに當り一言所懷を述べんとす、惟ふに關東廳はその前身たる關東都督府官制明治三十九年七月公布せられ民政の端を開きし以來變遷を經て今日に及び余も嘗て關東廳長官として在任し諸君と共に奉公の微衷を盡し今また拓務大臣として拓務行政主司の任に當り而して今此の機構改革の日に會する洵に感慨無量のものありその間諸君は終始一貫第一線に立ちて克く炎暑と闘ひ酷寒を冒し殊に滿洲事變勃發以來は平素鍛錬したるその不屈不撓の精神を以て幾多の艱難辛苦に堪え粉骨碎身以て報國の誠を至せり、斯くして今や滿蒙の地に漸く文化の光輝と平和の惠澤が普及せんとするに至りたるは素より我が皇室の稜威の然らしむるところと雖も又以て諸君が全力を擧げて滿洲帝國の大業に協力せる結果にして赫々たるその功績は國民齊しく景仰するところなり、翻つて之を內外の情勢に鑑みるに眞に多事多難に際會せり、乃ち諸君は今後政府所定の方針に基き新機構の下に更に協力し日滿兩國民の融和を圖り共存共榮の實を擧げ以て東洋永遠の平和と康寧とに貢獻せられんことを切望して已まず、茲に新機構實施に依りその所感を殊にするに當り諸君が多年の勞を謝し併せて將來益々邦國のため自重自愛せられんことを祈念し以て告別の辭とす

議會開會の 詔書公布

【東京國通】第六十七通常議會は二十四日召集され貴族院は即日衆議院は二十五日成立を告げたる旨政府に通告があつたので內閣より直に右の趣旨上奏の結果二十五日官報號外を以て議會の開會を命ずる詔書が公布された

詔書

朕帝國憲法第七條及ヒ議院法第五條ニ依リ十二月二十六日ヲ以テ帝國議會ノ開會ヲ命ス

御名御璽

昭和九年十二月廿五日

各國務大臣副署

廢棄通告は 廿九日か

【東京國通】華府條約の廢棄通告は齋藤大使に電送され通告時期は齋藤大使に一任されたが、外務省としては英國和協案を土台として廿七、八日日英會議が行はれるので英國の努力を諒とし右會談が濟むまで待つ意向である、從つて通告時期は本年最後の週末日たる廿九日午前中（滿洲時間は廿　日午前十一時）となるべく多事な本年の掉尾を飾ることゝなつた

京鐵の御用納め

新京鐵道事務所の御用納めは三十日で三十一日から三日まで新年臨時休業四日御用始めである、三十日は日曜のため結局三十日から五日間のお休み

人事往來

▲後藤蘇郎氏（錦州領事）二十五日午前十時發錦州へ
▲南大將（關東軍司令官）二十五日午後二時三十分着內地から
▲西尾中將（關東軍參謀長）同上
▲岩佐少將（關東憲兵隊司令官）同上安東から
▲谷正之氏（大使館參事官）同上
▲張景惠氏（軍政部大臣）同上
▲下田勝久氏（高等法院檢察官長）二十五日午後五時三十分着大連から
▲御影池辰雄氏（大連民政署長）同上
▲林博太郎氏（滿鐵總裁）二十六日午前八時五十分着大連から
▲山崎元幹氏（滿鐵理事）同上
▲樋口光雄氏（濱江省總務廳長）二十六日午前九時着奉天から大和ホテル投宿
▲三瀦文三氏（滿鐵鉄路課長）同上大連から大和ホテル投宿
▲野口清一郎氏（旅順工科大學長）二十五日午後五時三十分着旅順から大和ホテル投宿
▲田中芬氏（滿鐵食堂車支配人）二十六日午前十時發大連へ
▲菱刈大將（軍事參議官）二十六日午前十時發東京へ
▲丸山少佐（關東軍司令官副官）同上
▲御厨信市氏（關東廳外事課長）同上
▲大倉萬千百氏（地方委員會課長）二十五日午後八時發大連へ

女八人感激時代 最後の切札八枚 （合作）

柳　咲子……葉　吟子
大林梅子……若水絹子
渡邊園子……夏川靜江
木下双葉……飯田蝶子

20 ＝限りある人生＝ 茶話會（三） 夏川靜江作

「まあ、佐々木さん。暫く……このごろちつともお見えにならないと思つたら、出來たんですつてね？」
「何がですか。それよりも貴女こそ、僕をお拂ひ箱にして、こちらへたと云ふ話ぢやありませんか」
と、二人は、向ひ合つて、こんな談笑を初めたのだつた。
「あら、あたしに、何か出來て？」
「駄目ですよ、お呆けになつても、牛込のキャバレーで、すつかり聞いてしまつたんです」
「あら、そんなことないわ」
と友喜夫人は、笑ひながら云つた。
嘉世子は、佐々木と友喜夫人の話しを。スタンドのかげから聞いてしまつたのだつた。
「それですから、うつかりお訪ねしたりして、お邪魔をするといけないと思つて、遠慮してゐたんです」
「どうだか、口では、何とでも云へますからね」
と、友喜夫人は、笑ひを含んだ顔で云つて、ロビイを見廻してゐたが、
「貴下、またこんな所を泳ぎまはつて、新しい犧牲者をつくらうとなさるんぢやない？」
と、意味あるげに云つた。
「貴女ちやありますまいし、僕そんな人間ぢやありませんよ」
「まあ、御挨拶！そりやさうと佐々木さん、この間の方はどうして？目下進行中なんでせう？」
「何がですか？」
と、佐々木は、ちよつと眞面目になつて訊きかへした。
「まあ、呆けてゐらつしやるのね。憎らしい？ほら、牛込のキャバレーでお目にかゝつた方よ」
「あゝ、彼の女ですか。あれは、僕、困るんです」
と、佐々木は、強いて眞顔をよそほひながら、若い顔をしたのだつた。友喜夫人はクスリと笑つて、
「ちや、最近の征服は？」
「征服とは？」
「まあ、どうしてさう呆けてばかりゐらつしやるの？いゝ加減に白狀なさいよ」
と、きめつけるやうに云つてちよつと睨る眞似をした。
「征服なんて、そ、そんな……」
と、佐々木は、すつかり受太刀の氣味で、狼狽したが、何を考へたか、急に勢ひを盛返して
「ぢやア、白狀します。實は、僕、近いうちに結婚しやうと思つてゐるんです」
と、云つた。
「そうれ、御覽なさい。そんな大事件がありなさるのに、空呆けてばかりゐらつしやるのね」
「呆けてんぢやないのですよ。僕を、妙に色魔のやうに仰有るからですよ」
と、佐々木も一寸笑顔になつた。友喜夫人は、急に、興味をおぼえたらしく、
「そして、その結婚なさる相手の方は？あの、いつかお話しのあつた、田舍のお金持のお嬢さんとかつて方でせう？それとも、あのデパートの重役の嬢さんとかいふの。あれなら、とうとう押しつけられたんぢやありませんか」

モダン新公會堂いよいよお目見え

きのふ來賓六百名を招待 盛んな祝賀落成式

市民待望の公會堂改増築漸くなつて、二十五日恰も大正天皇祭の佳節に當り同日午前十時から各方面の人々六百有餘名招待列席のもとに落成祝賀會が擧行された、一同着席の上吉澤委員長の挨拶、神崎常任委員から經過報告あり、關東軍參謀長、國務院總務廳長新京駐在滿鐵理事（各代讀）大原地方委員會議長の祝辭終つて祝宴に移り、宴酣のころ料亭開花、やよひ、翡翠合同の雛鶴三番傑外二場あり盛況裡に午後一時半終了した

委員長挨拶

皆樣も既に御承知の通り當記念館は大正天皇御即位の御大典を永遠に記念し隣邦兩國民の親善福祉の増進に資する爲當時關東廳、滿鐵會社及在長各銀行、會社團体並に市民各位の寄附金約拾萬圓を以て大正八年起工し大正九年竣工を見たので御座居ますが爾來建設の趣旨に基き專ら公共の用に供せられ就中昭和四年から五年にかけては駐剳聯隊の假兵舍として

皇軍の活動 に資し殊に彼の滿洲事變勃發と共に先づ此處に義勇軍本部が設けられ其後は間斷なき出動軍隊の事務所或は宿營に宛てらるる等吾が新京の治安維持延ては滿洲國の建國に貢獻し極めて光榮ある歷史を有し由緒深き建物で御座居まして平時と非常時とを問はず常に遺憾なく利用せられた事は誠に御同慶に堪えない所で御座居ます然しながら此の建物は在留同胞一萬に足らざる所謂長春時代に造られました爲至つて規模も小さく設備も完備して居らず現在の如く日に月に發展しつつある國都の公會堂としては狹隘を告げ近頃頓に増加せる諸集會は不已得

學校講堂を 利用する外なかつたので御座居ますが斯くては兒童激増の折柄學校としても教育上多々支障ある事でもありますし尚人口増加の將來を考へますると從來の建物では狹隘且不便であるのみならず新興滿洲國都を以て誇る吾新京に相應しき公會堂を持たぬと言ふ事は如何にも遺憾至極であると言ふ事で玆に記念館増改築の議起り本年七月頃一部有志にて増改築委員會なるものを組織し右改築に要する經費約十萬圓の一部は關東軍、滿洲國、關東廳、滿鐵會社及在京各會社團體より御援助を仰ぎ殘りを市民各位より御寄附願ふことに致しました處

各方面より 多大の御援助御賛同を得まして僅々數ヶ月を出でずして本日御覽の通り內容外觀共に面目を一新した堂々たる公會堂が出來上つたので御座居ますが之は偏に前に申上げた各位の熱誠ある御援助の賜であつて發起人一同と致しましては感謝の言葉なく又御同慶に堪えない次第で御座居ます

經費及工事の狀況は追て詳細御報告申上げることと致しますが長春時代此の由緒ある建物は屢維持困難に陷りましたに鑑み將來は之を財團法人として永久に維持記念出來る樣折角考究中で御座居ますどうか市民各位に於かれましても充分に之を御利用下さると共に維持に付ても御援助下さる樣希望して已まない次第であります

昭和九年十二月二十五日
御大典記念館増改築委員會
委員長 吉澤清次郎

工事經過

一、本増改築の要點は從來四百名程度の收容力を有せる講堂を千六百名の收容力に擴張すると共に舊建物の補修を行ひ本格的近代的公會堂たらしむるにあり
二、本工事の設計並に現場監督は柴田建築事務所之に當る
三、八月十八日建築工事請負者は小西鹿藏氏に決定し即日工事に着手爾來晝夜兼行三ヶ月半即ち百五日を以て豫定通り十一月三十日竣工す
四、煖房工事は田中勝藏氏の請負ひにして十月十五日着手十二月十四日竣工す
五、電氣工事は前滿電支店の請負にして十月以降施工現在迄に殆ど竣工せるもシャンデリヤガラス一個破損のため未完成のまゝなるも近く完成の豫定
六、室內窓掛は大阪清水製作出張所、其他の家具は同上出張所、山葉洋行及横山商店の請負にして十二月八日以來極く短期間を以て完成す

寄附狀態

十二月二十四日現在

關東軍	一〇、〇〇〇・〇〇
市民（滿人）	五、二〇一・〇〇
滿洲國	三〇、〇〇〇・〇〇
滿鐵	三〇、〇〇〇・〇〇
勤勞者	三、一七一・〇〇
法人	五、五三〇・〇〇
貯金利息	二六八・四一
市民（日人）	八、七七七・三六
合計	九二、九四七・七七

增改築費決算見込額

增築工事費	六一、七七二・四〇
改築工事費	一〇、六六三・五〇
煖房工事費	九、三五五・四〇
電氣工事費	六、五四八・〇〇
小計	八八、三八〇・三〇
窓掛	三、〇三〇・〇〇
家具	四、八六四・八六
其の他備品	二、〇〇〇・〇〇
小計	九、八九四・八六
雜費	六、五〇〇・〇〇
合計	一〇四、七七五・一六

一般招待もなかなか繁昌 今晩は愈よ第二日

新京記念公會堂の落成記念一般市民家族招待は二十五日から二十七日まで毎晩五時半から映畫、舞踊等が催される、二十五日の初夜は定刻前から會場におし寄せ非常な盛會であつた

世界有數の施設を誇る 新大阪ホテル

【大阪國通】東洋一を誇る中之島の新大阪ホテルは難産二年がかりで漸く完成し、來春一月十日盛大な竣工式を行ひ十六日開業することになつたが、同ホテルは地上八階、地下二階、延坪六千四百八十九坪、總工費四百十萬圓の中大部分は大阪市の低資融通に依つたので、家主は大阪市で新大阪ホテル株式會社は店子と云ふ譯で、各客室にバスとアイスウオーターを備へ付け客が外出すれば自動的に電話交換臺及び帳場に不在が分る設備など世界有數の施設を誇つてゐる

北票炭坑爆發 死傷者數名を出す

【北票國通】北票炭坑第四層にガス發生し五パーセントに達したので炭坑當局に於ては危險を感じ、廿三日午前四時からガス排除作業に努力中のところ、ガスの發生意外に多く遂に同日午後五時半爆發し日本人死者一、行方不明一、滿人死者數名を出す椿事を惹起したが、應急作業の結果現場は間も無く復舊した、損害程度は目下調査中であるが案外少額の模樣である

鄭孝胥氏の乃木大將詠詩 青島神社に於て發見さる

【青島國通】青島神社の一隅に古さびた石碑がある、何の由緒で建てられたか星移り物變り尋ね得べくもないが、知る人ぞ知る、今を時めく滿洲國々務總理鄭孝胥氏の乃木大將を弔ふ詩が刻まれてあるのだ、圖らずも昨今滿洲國文教部審査室から公文書で右碑文の拓本送附方を神社に依頼して來た、只返せば或る程總理の筆致は正に總理のあれだ言々句々肺腑に徹する詩韻之れ又哲人宰相の作に相應しい在青居留民は近頃の掘出物と大喜び、保存に眼の色を變へ出した、銘は「弔日本乃木大將詩」辛酉（大正十一年）仲冬孝胥」とあり、本文は次の通りである

性情挾禮義 勃然在一發
百世猶興起 壯哉此賢匹
君臣與夫婦 同盡意何決
似含厭世旨 棄濁自成潔
知君百戰餘 覩死棄勝活
功名出至哀 垂老鬱勁烈
苟非斷[illegible]擧 殊負一腔血
平生信詩書 助汝兮生熟
中原今何世 誰復識名節
綱常既淪喪 廉恥殘斷滅
聞風獨酸鼻 感動爲悽絕
低回誦遺篇 夢魂逐豪傑

押迫る歳末の悲劇 金に窮した大工が馴染女と心中 兩名とも遂に絶命

金に窮した大工が酌婦と心中をとげた—城內二道河子和順街張有桂方止宿大工山本文雄（二四）は本年九月ごろから城內東三馬路料亭美島に登樓し同亭抱へ酌婦梅子こと西本うめ（一八）と馴染を重ねるうち二人は離れられない仲となり遂に夫婦約束を結び樂しい日を續けてゐたが、酷寒期に入り山本の職はなく金錢に窮したので二人は合意の情死を決意し、二十四日午前一時ごろ山本の自宅でアダリン二十粒を服用、心中をはかり山本は絶命、梅子は虫の息となつてゐるを家人張新民が發見總領事館署に屆け出た、同署から係員が急行檢證の結果梅子は直に新京醫院に收容應急手當を加へたが同午後七時絶命死体は樓主に引渡された

大連機關庫のガスタンク爆發

【大連國通】廿四日午後一時半頃大連機關庫熔接工場內に裝置された高さ二米半のガスタンクのガス誘導管に故障を生じたため職工大分縣生れ市內大山通り七十七和田親義（四二）同宇都宮市生れ市內乃木町十一新井榮吉（二六）の兩名がタンク內に入り故障個所を修理せんとアセチレンガス熔接器に點火した刹那、大爆音と共に爆發、兩名はタンクと共に天井に吹上げられ全身に重傷を負ひ直ちに大連醫院に收容されたが新井は間もなく絶命、和田は生命に別狀なき見込みである

青年達が街頭の美擧 三百五十圓を突破

既報、國都ホテル事務員山本宗和、元游動警察隊員一水公道氏その他四、五名の青年はさる十六日より毎晩六時から酷寒の街頭に立つて東北地方への義捐金募集のため市民に呼びかけてゐるが、二十五日で一旦打ち切つた、彼等の血の出るやうな叫び聲で集めた一錢二錢の淨財が積り積つて三百五十八圓七十三錢となつた、代表者は二十六日午前新京警察署を訪れ東北六縣各警察部長宛送金方を依頼、同署では直ちに送金送附の手續をとつた

林滿鐵總裁 機構實施所感

【大連國通】在滿機構改正實施に伴ひ滿鐵總裁林博太郎伯は左の如き所感を述べた

幾多の曲折を見た在滿機構改正問題も無事解決し對滿事務局並に關東局設置に關する諸官制も樞密院の御諮詢を經て本日を以て公布せられ、對滿事務局總裁、關東局總長以下の任命を見、此處に愈よ所謂二位一体制確立せられ機構人心共に一新、日滿聯携增進の上に一新紀元を劃するに至りました、最近滿洲國に於ては地方行政制度の確立、治安工作の進捗を遂げ正に產業建設、經濟開發方面に一大進展を來たさんとする時、日本の對滿機關が之に相應じて更新せらるるに至りましたことは滿洲國哺育の大責務を負ふ日本として當然のことながら滿洲國建國の大理想に鑑み更に將來の堅實なる發展を期待する上に於て洵に慶賀に堪えぬ所であります新官制發布の日に當り些か所感を述べ改革所期の成果を收められんことを切望する次第であります

中央訓練所 日系軍官 卒業式を擧行

【奉天國通】中央訓練所第一回日系軍官軍需學生の卒業式は皇帝御派遣の于宗謙侍從武官臨場の下に廿四日午前十一時半より同所に於て擧行されたが、來賓として軍政部大臣代理郭恩霖中將、于止山上將省長代理、軍政部顧問代理等多數あり、盛大を極めた

秋田縣下の共產黨狩

【東京國通】二十四日記事解禁された秋田縣下の共產運動は昨年六月岩田龍男（二九）を中心として全共名古屋地區協議會を結成し軍要工場にフラクションを有し活動してゐたが本年二月二十四日午後九時を期し百七十五名を一齊に檢擧し縣下六十四ヶ所のアジトを襲つて取調べの結果五十八名を治安維持法違犯の件で起訴した

樂しいお休み あすから各學校一齊に終業式を擧行

いよいよ學校はけふまでゞ二十七日からは樂しいお休みになります、室町小學校はあす午前十時から終業式、西廣場小學校は午前九時から、白菊小學校は午前九時からそれぞれ終業式が行はれます、なほ普通學校は二十四日から休んでゐる、新京幼稚園は二十六日午前十時からクリスマス祭と同時に終業式があつた

大正天皇御例祭

【東京國通】廿五日は大正天皇祭此日午前九時より宮中皇靈殿並に多摩山陵に於て嚴かな祭典を行はせられた、皇靈殿には秩父同妃兩殿下を始め各皇族方御參列、岡田首相、一木樞密院議長、牧野內府以下各國務大臣、樞密顧問官其他文武官等大禮服正裝にて參列、神樂歌の裡にいとも嚴かに御祭典は行はれ、三條掌典長祝詞を奏し奉れば午前十時天皇陛下には黄櫨染の御御束帶の神々しき御姿にて出御三條掌典長の御先導にて內陣の御座に着御、御玉串をとらせられて親しく御拜禮、恭々しく御告文を奏せられて入御次いで皇后陛下 皇太后陛下各皇族方の御拜禮、岡田首相以下參列諸員の拜禮あつて御儀を終へさせられた、又多摩陵では掌典部員奉仕して山陵祭あり畏き邊りより、勅使を參向せしめられた

天機麗はし けふの開院式 滯りなく終へさせらる

【東京國通】解散の危機を孕んで廿四日召集された岡田內閣第一次の第六十七通常議會開院式は廿六日午前十一時貴族院に於て 天皇陛下臨御の下に擧行された、此日 天皇陛下には陸軍式御正裝を召され第二公式鹵簿にて午前十時卅五分宮城御出門鈴木侍從長御陪乘を賜はり親王御總代高松宮王御總代梨本宮兩殿下を始め奉り湯淺宮相、本庄侍從武官長其他供奉申上げ同四十五分貴族院正門より御車寄に着御、諸員の奉迎を受けさせ給ひ、近衛貴族院議長の御先導にて階上便殿に入御各皇族方に御對面、岡田首相以下に拜謁仰付けられ正十一時式場玉座に進ませらるゝや岡田首相は横溝內閣書記官の捧持する勅語書を捧し御前に參進恭しく奉れば 陛下には之を御手に取らせ給ひ玉音朗かに優渥なる勅語を賜つた、斯くて近衛議長は謹んで勅語書を拜持して退下、玆に滯りなく開院式を終へさせられ、 陛下には十一時五分諸員最敬禮裡に御退場、同十五分御出門天機麗はしく宮城に還幸遊ばされた

衆議院各部部長、理事決定

【東京國通】衆議院の各部部長並に理事は左の如く決定した

部	役	氏名
第一部	部長	飯塚春太郎
同	理事	深澤豐太郎
第二部	部長	多木粂次郎
同	理事	岩瀬亮
第三部	部長	本多貞次郎
同	理事	中村三之丞
第四部	部長	安部磯雄
同	理事	[illegible]利新五郎
第五部	部長	高木正年
同	理事	坂本一角
第六部	部長	戸井嘉作
同	理事	河野一郎
第七部	部長	山本條太郎
同	理事	岸田正記
第八部	部長	大竹貫一
同	理事	村松久義
第九部	部長	菅原傳
同	理事	犬養健

航行章程調印 水路標識問題は未解決 滿洲國側委員引揚

水路會議共同技術委員會は年末を控え會議の進行を圖つた結果、去る十五日航行章程九十四條の審議を完了し兩國委員の意見の一致を見、條文改正を行ひ百三條の航行章程の調印を了した、本航行章程は來春四月十五日より滿ソ國境河川航行船舶に適用される事となつた、尙航行章程の審議を終へ十七日滿洲國委員は三角洲が滿洲國領土なる點を主張して滿洲國內水路の標識撤去につき說明を爲し、ソ聯側の反省を促し廿日其回答に接したが、滿洲國の滿足する回答ならざる爲會議は遂に休會となり滿洲國側委員は月末一時引揚ぐる事となつた

滿洲國要人の揮毫大展覽會 賣上金は日滿災害救濟に 東京、大阪で開催

今年の氣候不順は日本に在つては東北地方、滿洲國に於ては北滿地方に尠からざる災害を齎したことは周知の通りで之が救濟に關しては各方面とも夫々努力されつゝあるが、大同報及び滿洲國通信社兩社合同主催にて鄭總理始め各大臣要人の揮毫多數を得、一月中東京、大阪の兩地に於て大展覽會を催すとゝもに之を即賣して賣上金を日滿兩國の罹災民救援費に寄附することゝなつた、因に鄭總理は率先この擧に賛し多數の揮毫を快諾された

金融合作社聯合會設立

滿洲國に於ける唯一の庶民金融機關として設立以來發展の一途を辿りつゝある金融合作社は其の聯絡統制機關設置方を擧て財政部大臣に申請中であつたが、去る十二月十七日附を以て金融合作社聯合會設立許可の指令あり、同時に左の通り役員の任命があつた

理事長 田中恭
理事 三宅亮三郎
同 松崎健吉
總務部長 理事 三宅亮三郎
監理部長 理事 松崎健吉
總務部庶務課長 主事 關時藏
經理課長 主事 村井貞清
監理部監理課長 主事 中島吾郎
教育課長 主事 當正儒
（財政部事務官）

右聯合會設置と同時に從來奉天、吉林及チチハルの金融合作總處は之を廢止し、全國に散在せる金融合作社は新設の聯合會より直接資金の供給を受けることゝなる

五人組の强盗 城內に入る

二十五日午後五時ごろ西三馬路市公署北側荷馬車棧王九江方へ五人組の拳銃强盗が押入り、家人を脅し內一名が家人の監視に當り一人が表入口で見張をなし三名は屋內を搜査し金指輪一個、金耳輪一個現金十五圓、懷中時計一個を强奪電話線を切斷逃走した、屆出に接した大經路署では全市に非常線を張り犯人搜査に努めたが逮捕するにいたらなかつた

雜誌記者協會忘年會

新京雜誌記者協會に於ては廿四日午後六時より永樂町扇芳亭に於て忘年會を兼ね懇親宴を開催したが、席上高木滿洲改造社長の開會の辭あり、續いて加藤幹事は昭和九年度の事務報告及十年度の事業計畫內容につき說明する處あり、盛況裡に午後九時頃散會した因に當日の出席會員は十八名の十社であつた

仙人掌

和製デートリッヒが慧星の如く白馬に現れた▲マルレーヌデートリッヒが白馬のキヨミにそつくりといふから大したものだ、眉毛といひ口のゆがみ具合といひ正にデートリッヒはキヨミに似てゐる▲フタバ、サロン富士、モナミと轉々とした彼女、何處へ行つてもデートリッヒ、デートリッヒと呼ばれて來たので先日デートリッヒ主演の「戀の凱旋」を觀たところ、彼女俄然がつかりしてしまつた▲その譯を聽くと「あたしもう少し美人に似てゐると思つたら、あんな女に似てゐるんですつて、がつかりしたわ」そしてこの和製デートリッヒ、顏より性格が似てゐるといふから嬉しいではありませんか

けふの銀相場

國幣對金票 [illegible]
金票對鈔票 [illegible]
鈔票對國幣 [illegible]
現大洋對鈔票 [illegible]

本日の最低氣溫

零下十四度二

新版江戸八景

行友李風氏外四氏作
[illegible]銀平他二氏畫

一五九

江戸相撲と辰巳藝妓

十二 鈴木彦次郎

江戸の華（二）

「野郎ッ。」勢ひ立つて飛掛つた勝は、もろくも彈ね飛ばされたが、忽ち海老の様に跳起きた。

「畜生ッ。」勝の投げた下駄は、相手の顔へ眞正面に——瞬間！

「お待ちッ！間違しちやアいけないよッ！」と、ひらり身を躍らして二人の間に飛び込んだのは、今湯から出てきた女。——きりりと引き締つた細面に、くッきり描いた眉も黒々と、瞳こそ、少し險があるけれど、五分もすかさぬ粋な姿は、いづれ、素人ではあるまい。

「いよッ！お万さんが飛び込んだぞ！こいつア面白え！」

「おいく、お万ちゃんが踊に割入つた。とんだ雪の中の三人立ち。——やあい、皆出てみろッ！」

湯槽から飛び出した連中の顔を押えた野郎まで混ぢつて見物は[illegible]から、目白押しだ。

「ちよいと、お待ちッたら…」

顔を押へてうつむく田舍者を後に庇つて、辰巳名代の羽織藝者お万は凛として立つた。

「おッ、姐さんですか……。止めねえでおくんなせえ。このシヤモを締ちまあなきあ、あッしの顔が立たねえんだ……」

勝は、手を振ッていきり立つ。だが、お万は輕く笑つて、

「勝公、お立派だよ。裸になつてさ。」と言ひかけて、がらり、調子を變へた齒切れのいい啖呵、

「さあ、喧嘩は、お万が買はふぢやないか、思ひ切つて、ぶッて貰はふかい！」

「そんな、姐さん……それぢやアあッしが困らア……」

女と知りながらも、その勢ひに呑まれて、たぢろぐ勝に、お万はすらり脱いだ縮緬の半纏を掛けた。

「これさ勝つあん風邪を引くよ」

見物はどつと吹き出した。

「いよう。勝公の色男——。」

「あッ、いけねえ。こいつアあッしのまけだ」勝公も江戸ッ子。派手な半纏を押へてひよいげた顔で頭を掻いてあッさり笑つた。

「勝つあん……。後で一升買ふからね。」

「へッへへ……どうもすみません。」お万の働きで、もう、勝公、一寸も譲けない。喧嘩はそのまま笑となつた。

「さあ、お前さん……。」

お万は、かばつた田舍者を振り返ッて、「あら、血だね。」

田舍者の指の間からは、黑いものがポタッと雪の上に落ちてゐる。

お万は抱く様にして覗き込むと持つた手拭をぐいと當てやつた。

「有難う御座えます。何んでもありましねえ。」

「でも隨分出るぢやないの…」

「何に大した事アござんせぬ」

「でもさ。構はないから、この手拭で押へてお置きよ。」

「そはア、御親切様なこんで」

「なあに、そんなこと——まあこゝぢやア、なんだから家へすぐそこだから……」田舍者は、情ない顔付きで、我身を見廻してゐる。

「滅相は御無用。誰も咎めやアしません。仲裁は時の氏神とやら申ますのさ。」お万は田舍者の手を取ると、蛇の目をパッと開いて歸掛た。（うーむ）唸ッた見物の一人が勝の肩を、ポンと叩いて、

「いや！勝公！——さらりと百姓にさらわれたな。」

「ホンニヨ、だからあのくれえな藝者衆は、この辰巳にだつてたんとはねえぜ……。」

勝次と連は、たゞ呆然とお万の後姿を見送るのだつた。

居住消息

▲神代新市氏（大分縣）四平街から花園町五丁目三番地七十五號ノ二へ
▲江崎政雄氏（長崎縣）永樂町二丁目十四番地へ

轉居

▲田村一郎氏春日町から露月町二丁目三十四番地へ
▲清水和一氏東七條通りから高砂町二丁目發電所く
▲神宮頼正氏日本橋通りから驛構內連絡事務所合宿所へ
▲阿久津恭二氏同上
▲柴田貞治氏同上
▲高柳清次郎氏祝町から和泉町一丁目四番地へ
▲松村道輔氏高砂町から祝町五丁目三番地へ
▲社頭太郎氏錦町から昌平街百一番地へ
▲陣之內龍助氏祝町から東二條通り七十番地へ
▲窪井安道氏羽衣町から興安胡同五百十七號中明行へ
▲金子正一氏富士町から室町二丁目三番地へ
▲三輪誠一氏敷島寮から山吹町櫻木寮十九號室へ

新刊紹介

◇滿鐵夏季大學發表 時局の分析及び批判から必要なる指導意識の再確認へ 早稻田大學杉森孝次郎氏講述目次—序語第一章所謂非常時を對象として、第二章現代思想の契機及び特徵、第三章結論七八頁發行所大連市南滿洲鐵道株式會社地方課（定價金十八錢）

◇同上 日本經濟最近の飛躍的發展と其の將來—— 高橋龜吉氏述目次第一章世界經濟事情の根本的變化と日本の位地、第二章最近に於ける我が經濟發展の飛躍と其の根因第三章大正九年以降最近迄の見越に亘る整理研究、合理化の苦鬪と其の成果、第四章我が經濟發展の根本事情の漸次的成熟第五章日本經濟の俄然たる最近の飛躍事情、第六章日本の低賃銀問題と其の眞相等九六頁發行所同上定價十九錢

◇同上 國際政局の現在及び將來—— 東京帝大教授法博神川彦松述目次序論一、現代國際政治の基調二、歐洲國際政局の現狀と展望三、極東及び太平洋の現狀四、東亜モンロー主義の唱導五、極東及び太平洋の將來——一三頁發行所同上定價金二十錢

◇滿洲改造（十二月號） 破邪顯正をスローガンとして滿洲諸般の改造に淨化のメスを振つてゐる同紙は本年掉尾の紙上に峻烈な筆陣を張つてゐるが中主なる記事は、高木翔之助氏の「國務院各部系次長必設論」「滿洲國協和會は何處へ行く」長岡忠一氏の「伏魔殿？滿洲中央銀行の樂屋を覗く」「滿洲移民問題と日滿統制經濟問題」等、發行所新京千鳥町一丁目七番地滿洲改造社定價金五十錢

◇新日本建設 著者石原廣一郎氏は英領馬來半島に在ること二十余年昭和五年九月十八日滿洲事變勃發の報を得て大い感動して[illegible]朝國運恢興の大業に一路邁進を決意し大川周明博士と共に神武會を組織し東奔西走、或は田中國重將軍の指導の下に明倫會を組織し今日に至つたが只單に國事を憂い悲憤慷慨してゐるだけでは滿足出來ず庶政改善に關し隨時記述したのが本書で時局柄一讀に値する內容は、第一章緒言第二章大和民族發展の進路、第三章外交方策、第四章內政改革、第五章議員選擧法改正第六章新日本建設への實行と其の結果、附錄國難に直面して、發行所京都市寺町廣小路立命館出版部定價金一圓卅錢

◇カルメン 川西英版畫 第一幕女工カルメンがセヴイラ街の廣場に咲いた戀、第二幕仲よくジプシーの群れに入り自由を讃美する合唱、第三幕カルメンの氣心がそろそろ鬪牛士に、第四幕英雄エスカミリオの勝ち誇つた双に殪れたカルメン、發行所東京市京橋區銀座西七丁目五番地版畫莊頒價六十五錢

◇寫眞製版と印刷 寫眞銅版、亞鉛凸版三色版、オフセット印刷グラビヤ印刷原色版、コロタイプ等各種印刷見本發行所東京神田區一ツ橋通り二十番地加藤寫眞製版所

◇創作工藝（十二月號） 小學校圖畫科、手工科、工業科研究改善と普及奬勵の雜誌として斯界の好評を博してゐる、內容は三好正雄氏の尋五木工教授の順序、後藤貞幸氏の手工科經營と新讀本、加藤重義氏の低學年に於ける空間學習建設論等好資料を盛られてゐる、發行所東京市芝區田町一丁目創作工藝奬勵會定價金五錢

◇オカシノクニ十一月號附錄（森永キャラメル藝術號） キャラメル藝術品入賞者特選以下發表、入賞者の作品寫眞及び感想等十頁發行所東京市芝區田町一丁目十二オカシノクニ社

九星

十二月二十七日 木曜 壬申 先勝 成 奎宿

●一白の人 勝氣に任せて出過ぎるは凶金談は徐に進め乙と申と寅が吉
●二黑の人 人々よりの同情援助ありて願望成就する日申と庚と壬が吉
●三碧の人 吉運には惠まれたれど勢に過ぐれば敗あり丙と丁と亥が吉
●四綠の人 大吉運の日業務着々として成功の域に入る甲と丙と丁が吉
●五黃の人 不圖した思ひ付きより意外の好轉を來す日申と庚と壬が吉
●六白の人 他の侵害を蒙り進退の自由失はんとする日甲と申と庚が吉
●七赤の人 傀儡となりて人に利益を收められ己は損す乙と庚と壬が吉
●八白の人 決斷力に乏しく好機を逸し後悔する事あり甲と辛と癸が吉
●九紫の人 氣は焦れども動きの自由ならざる日旅行凶巳と辛と壬が吉

満洲國稅關

北鮮進出條約明春調印されん

兩國貿易に一大光明

満洲國稅關の北鮮三港進出は日滿兩國を結ぶ最捷經路による兩國貿易上の一大障害が除去されるものと各方面より期待せられてゐるが、外國稅關を國內に設置し且つ外國の列車を國內に引入れる事とて去る九月その大綱を決定以來日滿兩當局に於て議を練つてゐたが、此の程兩者の意見合致して南新全權の着任後明春匆々右條約の調印を見る運ひとなり日滿經濟ブロック完成への一大躍進が期待せられるに至つた、滿洲國稅關の北鮮三港進出に關する條約の內容は大要左の如きものと確聞する

一、北鮮三港に滿洲國稅關を設置し滿洲國よりの輸出貨物に對する一切の通關手續を行ふ

一、北鮮三港より滿洲國に輸入する貨物の通關手續は仕向地に於て行ふ

一、京圖線圖寧線の列車を北鮮三港に直通運轉する

南全權新政策の劈頭を飾らん

人の知い經濟提携を日滿關係の基調として入滿した南新全權に期待する新政策は日滿經濟會議新設を中心に幾多方面に亙り日滿兩國々交上一大躍進が各方面より要望せられてゐるが、日滿貿易上多大の貢獻を齎らすべき滿洲國稅關北鮮進出に關する條約の調印こそが南全權に期待される幾多新政策の劈頭を飾るものとなる由である

滿洲國官吏消費組合

來年一月一日營業開始

先般來屢々傳へられた滿洲國官吏消費組合設立問題は最近內面的に着々進行しつゝあつたが、二十四日午後五時より大同自治會館に於て設立發起人會議を開催したが、廳、部、局、其他の關係各個所より約六十名の發起人集合し、滿洲國官吏消費組合設立案原案を可決、引續き之が實行策として

一、年內に組合を成立せしむる

二、假事務所を大同自治會館に置き康德二年一月一日より營業を開始する

三、大同自治會販賣店を讓り受け之を根據として暫定的方法として組合員の各家庭に御用聞を派し日用品の配給に當り新發屯、永昌路兩分配所並に中央分配所の開設準備を進める

四、組合員の第一回募集を二十六、二十七の兩日に行ふ

五、第一回の評議員は發起人を以て充當する

六、二十七日午後五時より評議員會を開催

左の事項を決定する件

イ、正副理事長推戴

ロ、理事を互選するの件

理事は各部局評議員間の互選とし理事の數は組合員百名未滿の部局は一人とし百名を加ふ每に一名を增す

ハ、監事決定の件

につき審議の結果、滿場一致決定、直ちに實行に移る事となり同七時過ぎ散會した

設立趣旨

滿洲國官吏消費組合設立趣旨要項左の如くである

滿洲國官吏消費組合は相互扶助の精神に基き組合員の福祉を增進するため消費生活の合理化を計り良品廉價購入分配し冗費を省き生活を安定向上し以て後顧の憂無く建國の聖業に邁進し得る素地を作るを第一歩とし、更に

一、國內物價の水準を定め正常なる經濟狀態の確立を促す

一、不當利得防止に基因する物價の下落は購買力の激增となり以て日滿貿易を振興せしむる

一、前項により日本商品の輸入を促進助長し關稅收入の增加による國家財源の基礎を鞏固ならしむ

一、我組合設立に依り製造業者の販賣機關となり國內製造工業の興隆助長に寄與する

一、堅實優良なる地元商人と取引も出來得る限り原地仕入主義にて商人を保護し奸商を驅逐し國民經濟の充實

販賣品目

一、日滿兩國現下の重大問題たる日本農業移民の生產餘剩物販賣機關たらしめ移民の側面的援助をなす等を以て第二の目的とする

を圖る

消費組合販賣品目左の如し

一部　白米、粉、雜穀、味噌醬油、酒、鹽、砂糖、燃料
二部　乾物、海產、壜罐詰、漬物
三部　飮料、菓子、煙草
四部　履物、世帶道具、傘
五部　衞生材料、小間物、化粧品
六部　吳服洋品、雜貨、身邊品、被服及材料
七部　紙、文具、雜品
八部　野菜、果物、鮮魚、精肉

消費組合定款

滿洲國消費組合定款は別項設立趣旨に基き定められ本部を新京に支部を省城所在地及び新京に置き

一、出資一口の金額五圓とし一人の持分は一口以上三十口以下とす

一、出資第一回拂込は一口につき金一圓で加入と同時に拂込むこと

一、新に組合加入申込の場合は理事長に申込書を提出すること

其他組合員及び出資の件、役員及び業務機關の細目を定め全條四十一條より成つてゐる

消費組合資金

消費組合經營の資金については相當考慮が重ねられた結果當初三萬圓を集める事となり最低限度の出資金を目標に二口平均持とし三千名の組合員を集むる豫定とし爾後漸次擴大の意向である、右三萬圓の出資金は一萬圓を事務所並に販賣所の開設費に充て殘る二萬圓を商品運用の資金とするもので、右運用金二萬圓を以て年百萬圓の商品を販賣し得る目算を建てゝ居るが、之は滿鐵消費組合の資金及商品運用高を基準としたものと觀られ之が成果には相當の自信を有して居る

消費組合組織

滿洲國官吏消費組合は滿洲國に職を奉ずる者を以て組織し組合員中より理事長、副理事長及び組合員選擧による理事評議員、監事の役員が組合業務の大綱を定め之を統括し其の下に業務執行機關として幹事長以下の組合從業員を置き業務執行機關としては本部を新京に置き奉天、吉林、ハルビン、チチハル、安東、錦州承德、佳木斯、延吉、黑河、新京の十一個所に支部を設置されるが、尙新京には大同自治會館、新發屯、永昌街の三ケ所に各分配所を設ける

八市電買收

其後の成績良好

【ハルビン國通】全滿交通事業の魁として繼續されて居た當地市公署と電業局との市內電車買收交涉は其後圓滿に進展、廿三日の兩者の會見を以て正式に成立を見、廿四日午前零時を期し一切の引繼ぎ事務及び手續きを完了、茲に華々しく市營電車としてのスタートを切つた、買收交涉の經過及結果は目下文書に起草されて居るが、市公署の支拂ふ買收費は約六十萬圓、償還方法は年利五分、廿ケ年年賦で新京電業本社に支拂はれる事になつてゐる、之がため、接收と同時に從業員四百卅七名（內職員六十四名）は市吏員となり、電業局より離脫した因みに現在の車輛は卅四輛、總距離廿五キロで、日日卅二輛を運轉、九十四パーセントの成績を示し、更に收支情況に於ても去る九月二區制、一區四錢の實施以來日日增收の一途を辿り、市公署では接收後は交通局を新設經營に當らせて居るが、將來市內乘合自動車も買收、市營となす方針である

在滿外油代理店に本社の壓迫加はる

石油專賣實施をめぐるなやみ

滿洲國政府は石油專賣法を公布以來、營口其他の各地に於る外油代理人に對し專賣署を通じ元卸賣人の指定を行ひ專賣法の實施準備を急ぎつつあるが、之に對し政府の意を諒とせぬアジア、スタンダード、テキサス、ソ聯等の石油外商は自社の代理人に對し政府の指定卸賣人となるときは、一切の代理販賣權を剝奪すべしと脅迫的態度に出で、婉曲に政府の政策を妨害しつゝある狀態で、本問題は前途に尙ほ相當迂余曲折があるものと見られる、滿洲國內に於る有力なる石油外商は左の三會社で、之等の石油現在々庫量は

アジア	五〇、〇〇〇罐
スタンダード	一九二、〇〇〇
テキサス	六三〇、〇〇〇

であるが、各社は早晚政府により專賣法實施の運命に逢着すべきを覺悟し、これが實施前に現品全部を賣捌處分せんと方策を講じ、專賣後の輸入品値上りを見越し

既に

石油一罐につき一圓、ガソリン一罐につき三十錢宛の値上を斷行して現品整理に專念してゐる現狀である

十一月末

金融合作社概況

十一月末金融合作社概況は社員數一五、二〇二人で前月末より三〇〇人の增加となり、貸付金は十一月分貸出高一五三、二三八圓、同收高一二五一〇五圓で差引一、七三八、三〇一圓となり、前月に比し二八、一三三圓の增加を示してゐる、預り金は三五一、〇七一圓で前月に比し三二、九五六圓の減少である、今各社別に業績を示せば次の如し

社名	社員數	貸付金	預り金
△奉天省			
瀋陽	一、五六一	二六八、二〇二	五〇、九七
復縣	一、四二三	一七一、四三五	四七、五
鐵嶺	一、〇四三	八二、二四〇	一四、三三三
遼陽	一、三〇三	二四、三七	一三、三八
開原	一、六六	七五、五一	三五、五八
撫順	一、三六	八四、四九	七、八六
蓋平	一、六七	一〇五、三六九	五、七〇〇
錦縣	一、一一三	一三三、三〇〇	一、九六
興城	一、〇二四	一五〇、八四五	一五、三四七
遼源	七七	一二七、四六三	二、八六
△吉林省			
永吉	一、六六	二〇九、五八〇	一二五、七四九
額穆	九七一	一〇〇、〇四〇	三八、九〇
△黑龍江省			
克山	九三	六〇、四三〇	三七、九〇
計	一五、二〇二	一、七三八、三〇一	三五一、〇七一

英皮革商

熱河進出計畫

【大連國通】皮革材料毛皮並に雜貨類を取扱ふ英國人經營の奉天城內隆汽洋行は在奉該商中の老舖であるが、最近對米爲替が漸次恢復せる爲め積極的活躍を企圖し市內加茂町英國人經營古賓財利汽洋行と共同し二十九萬圓を出資して熱河進出を計畫、過般調查員を派遣し愈よ奉山沿線及び熱河省各地に支店を設置することゝなり差當り錦州、承德の兩地に支店を設置することゝなつた

海外經濟

倫敦銀塊	二〇	一六分ノ五
同先物	二〇	一六分ノ一
紐育銀塊	五四	四分ノ一
米英爲替	四九	二分ノ一
米日爲替	休	會
米支爲替	三六	弗八分ノ一
スチール株	三四	弗三分ノ一
アナゴンダ株	三七	弗〇〇〇
	一〇	八分ノ五

▲上海標金

クリスマス休會

▲大連金鈔票

	現物	
寄付	二五九〇〇	
引	二五九〇〇	
高	二六二五〇	
安	二五六〇〇	
出來高	一五〇萬元	
	十二月廿七日限	一月十三日限
寄付	二五九〇〇	二六〇〇〇
引	二五九五〇	二六〇〇〇
高	二六二五〇	二六二五〇
安	二五八〇〇	二五九〇〇
出來高	八六五分	八六五分

▲大連上海向

大連鈔票銀大洋		
現物	一〇五〇	一〇九六〇
	一〇三三〇〇	一〇三四〇〇
	一〇三四〇〇	一〇三四五〇

▲大連燐台向

一〇五六〇〇	一〇五七〇〇
一〇五五〇〇	一〇五五〇〇
一〇五六〇〇	一〇四〇〇〇

各地市場

▲大阪株式

大株	九五六〇	九五六〇
大新	九二二〇	九一〇〇
鐘紡	二六六〇	
新	二〇〇〇	一三六八〇
大	二二六三〇	

▲同短期

鐘紡	九一五〇	九〇八〇
新	一三七〇〇	一三六九〇
東新	一四〇七〇	一四一〇〇
日	一〇五〇〇	一〇五九〇

▲大連株式

五品

▲奉天株式

豆先限	二〇七〇	二〇七〇
新	二〇七〇	
取新	一四二〇	一四二〇
東新	九二五	九六〇
大新	一三五〇	一三六〇
鐘新	一〇三〇	一〇三〇
日產		
滿鐵	六〇三〇	

▲仁川期米

當限	二七六四	二七八〇
中限		
先限	二六〇五	二七九九

▲大連特產

	寄	引
◎大豆		
袋込	四五一	四四一
十二月限	四四七	四四一
一月限	四五〇	四四三
二月限	四四九	四四四
三月限	四五四	四五七
四月限	四六〇	四五一
◎豆粕		
現物	一三八五	一三六〇
十二月限	一三六〇	一三八五
一月限	一四〇五	一四〇五
二月限	一四二五	
三月限	一四二五	
四月限	一四二五	一四一〇
◎豆油		
現物	一三四五	一三四〇

新京市況

◎高粱		
十二月限	一二四五	一二四五
一月限	一二四五	一二四五
二月限	一二五〇	一二五〇
三月限	一二四五	一二四五
四月限	一二五五	一二五〇
五月限		
◎豆		
現物	三六五	三六八
十二月限	三九五	三九八
一月限	三九三	三九四
二月限	三九二	三九六
三月限	四〇〇	四〇三
四月限	四〇四	四〇八

◎特產現物

大豆	一一、六〇	二車
高粱	一一、四〇	六車
包米	一〇、五〇	二車
小豆		

◎特產先物

三月大豆	三、八一	一車
出來高		
四月大豆	三、九一	三、八二
出來高		三四車

◎錢鈔

四月限高粱	三、三四	三、三三
出來高		一一車
國幣對鈔票十二月廿八日限	九二、四〇	
出來高		五千圓
國幣對鈔票一月十三日限	九三、五〇	九三、五〇
出來高		一萬三千圓

◎錢鈔

鈔票對金票十二月廿八日	一二五、九二	
出來高		四萬四千圓
鈔票對金票一月十三日限	一二六、〇	一二六、一〇
出來高		四萬八千圓

手形交換（廿四日）

國幣對金票		一〇七八二〇四錢
金票對鈔票		一二五四六〇錢
鈔票對國幣		九二、六〇錢
現大洋對鈔票		一〇九四三〇錢
金票	一七三枚	二五六、九二一
鈔票	一五枚	四〇、六〇
國幣	三枚	三一、六二〇

大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

朝夕刊共十二頁

本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別同 二圓五十錢

發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二二五・三三〇〇

發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

對滿新機構官制 昨日公布、即日實施

日滿經濟會議を第一着手とし 産業の開發に努力

【東京國通】政府が對滿政策遂行の爲改革した在滿新機構は改革に伴ふ勅令四十九件を廿六日官報號外を以て公布即日實施し同日午後二時林陸相の對滿事務局總裁兼任の親任式が擧行され同時に改革に伴ふ人事を決定發令し、舊内務省廳舍に於て事務を開始したが、政府は此機構改革實施と同時に先づ第一着手として日滿經濟會議を設け、滿洲の經濟的發展、産業の開發に主力を注ぐことゝなつて居り、その中樞となつて働くべき新機構の首腦部は既報の通り岡田首相、林對滿事務局總裁長以下、關東局總長は廿六日午後三時新機構に於て活躍すべき川越事務局次長以下幹部を首相官邸に集め右三氏より新機構實施方針に關する訓示を爲し新機構により對滿政策は愈々刷新さるべく期待されて居る

關東廳廢廳式

けふ午後擧行さる

【旅順國通】三十年の歴史に別れを告げて新しき門標を掲げ新機構にスタートする歴史的關東廳廢廳式は二十七日午後開會の豫定である

當日の風景

【旅順國通】新機構官制發布當日の關東廳は朝來何となくあわたゞしい空氣漲り廊下の各所に新京行荷物が堆高く積まれて居る、午後三時過官制發布されるや各部各課に於ては官制と同時に人事異動の發表があり關東廳に居殘る者新京關東局行きが直ちに發表された、夫々榮轉者に對しては目出度うの言葉が投げかけられ旅順に殘る人も新京に行く人も新機構に新らしく第一歩を踏み出す喜びに充たされ頗る和やかな氣分が漂つてゐた

關東局人事

きのふ正式決定

從四位勳三等 長岡隆一郎
任關東局總長

敍高等官一等 内務局長 日下辰太
任關東局司政部長

敍高等官二等 憲兵司令官 岩佐祿郎
兼任關東局警務部長

敍高等官二等 交通監督部長 大村卓一
兼任關東局監理部長

敍高等官一等 警務局長 大場鑑次郎
任關東州廳長官

敍高等官二等 事務官 塘原時三郎
關東局官房秘書課長を命す

同 御厨信市
關東局官房文書課長を命す

司政部長 日下辰太
關東局司政部行政課長事務取扱を命す

事務官 小酉陽
關東局司政部經理課長を命す

同 杉村正
關東局司政部財務課長を命す

事務官 山中徳二
關東局司政部殖産課長を命す

同 御影池辰雄
關東局警務部警務課長を命す

鈴木宗作
關東局警務部警備課長を命す

事務官 青木重臣
關東局警務部高等警察課長を命す

技師 小坂隆雄
關東局警務部衛生課長を命す

監理部長 大村卓一
關東局監理部交通課長事務取扱を命す

事務官 中村純一
關東局監理部遞信課長を命す

事務官 大和田彌一
關東州廳官房庶務課長を命す

同 蠣川久太郎
關東州廳官房會計課長を命す

事務官 米内山震作
關東州廳内務部長を命す

事務官 本田忠男
關東州廳内務部地方課長を命す

理事官 石原次郎
關東州廳内務部財務課長を命す

事務官 田中稔
關東州廳内務部殖産課長を命す

技師 清水本之助
關東州廳内務部土木課長を命す

事務官 田邊秀雄
關東州廳警察部長を命す

事務官 金井温治
關東州廳警察部警務課長兼高等警察課長を命す

警視 石井金三郎
關東州廳警察部保安課長を命す

同 泉文三
關東州廳警察部衛生課長を命す

事務官 水谷秀雄
補大連民政署長

衆議院本會議

奉答文滿場一致可決

【東京國通】二十六日の衆議院は開院式終了後午前十一時二十分より本會議を開會、勅語奉答文に關する議事を行ひ議長指名の菅原傳氏を委員長とする十八名の奉答文起草委員を擧げ一旦休憩、右委員に於て奉答文起草後再開滿場一致奉答文を可決して正午散會した

極力解散回避

政府の對議會態度

【東京國通】政府は臨時議會に於ける各政黨内部の狀態より政界の前途を樂觀してゐるが、政府の意向は出來るだけ非解散で通常議會を乘切らんとし臨時議會以來の爆彈動議には政府獨自の認識に立ち農村對策費を多少追加し爆彈動議を不發にせんとの意向有力である、臨時議會で論難された人權蹂躪問題は小原法相の言明を再三裏切り豫審終結は遲延を重ねて居り萬一年内に豫審が濟まねば休會明けには政友の猛襲で正面衝突を來す虞れあり、國策審議會參加拒否及び之か豫算拒絶の懸念もあり政府は政界の動向を注視してゐる

兩院へ廻附の

十年度一般會計豫算要綱

【東京國通】十年度一般會計豫算要綱は廿六日兩院議員その他各方面に廻附されたが、内容左の通り

第一、十年度豫算編成に際し國際情勢上陸海軍豫算の充實と滿洲事件費に巨額の増加を要し且各地に起つた災害の對策經費も多額に上り歳出増加の傾向激しきも歳入は自然増收が前年同様となるを得ず、一部産業は時局の影響により増益顯著なるも歳入不足は尚著しく一般經費は節約を旨とし公債の新規發行の減少を圖り左の通り豫算を編成した

一、臨時利得税賦課計畫

一、兵備改善の經費は緊急のもののみ計上

一、滿洲事變費は節約の趣旨により計上せるも滿洲に於ける航空部隊その他の整備は特に經費增額

一、災害對策經費の本年度豫定額を計上

一、治水港灣等の土木事業で時局匡救費により完成せざるものは成る可く計畫全般につき必要經費を計上

一、その他の新規事項は爲替相場の變動による國際元利拂ひの貨幣交換差損金補塡等差し當り必要の分のみ計上

一、歳入不足は公債で補塡

第二、歳入歳出豫算總額は

△歳入

經常部	一、三三五、五八七、八四四圓
臨時部	八五七、八二六、四四五
(臨時部内譯)	
普通歳入	一〇一、一七四、七六五
公債金	七四九、六五一、六八〇
前年剩餘金	七、〇〇〇、〇〇〇
計	二、一九三、四一四、二八九

△歳出

經常部	一、二九三、〇八二、八四一
臨時部	九〇〇、三三一、四四八
計	二、一九三、四一四、二八九

歳出豫算各省内譯

皇室費		四、五〇〇、〇〇〇
外務省	經常部	一六、八三〇、〇一一
	臨時部	一三、八二二、五八二
内務省	經常部	五〇、七四三、一五一
	臨時部	一一〇、六四一、五三六
大藏省	經常部	四四四、八七〇、一九七
	臨時部	二六一、五一三、九〇三
陸軍省	經常部	一七九、八〇三、七七五
	臨時部	三三一、一五五、二〇四
海軍省	經常部	二一五、九一七、八三〇
	臨時部	三三三、七六五、六〇四
司法省	經常部	三五、八八四、五五七
	臨時部	二、二九六、一二〇
文部省	經常部	一二九、五八七、九七五
	臨時部	一八、六三〇、九〇八
農林省	經常部	三〇、三九二、三四〇
	臨時部	六〇、九一九、三三三
商工省	經常部	五、四八八、二六四
	臨時部	七、九六七、五〇一
遞信省	經常部	一七六、八九六、〇九六
	臨時部	一三、九六七、六七六
拓務省	經常部	一、九六七、六四五
	臨時部	一八、六〇三、〇六二

公債發行額

八億四千萬圓に達す

【東京國通】昭和十年度一般會計豫算要綱は二十五日午後印刷を終り、二十六日開院式終了後貴衆兩院に配布されたが、明年度豫算公債發行額は一般會計の分七億四千九百六十五萬一千圓になつて居り追加豫算交付公債約一千萬圓特別會計の分七千六百萬圓を加ふる時は約八億四千萬圓に上つてゐるこれを昭和八年度十億一千百八十萬圓に比すれば一億七千百萬圓の減少であり また昭和九年度(災害豫算の追加財源も含む)の九億七千七百六十五萬圓に比すれば一億三千七百萬圓の減額となり所謂公債漸減法則には合致してゐる結果となつてゐる

一、州と市會議員と街所協議會定員の半數を選擧する

一、帝國臣民で廿五歳以上の男子にして六ケ月以上當該地方の住民となり一定の地方税を納める者は市會議員の選擧權と被選擧權あり

一、州會議員は市會議員と街所協議會委員が選擧する

廢棄通告に伴ふ

齋藤大使聲明の骨子

齋藤大使

【ワシントン廿五日發國通】齋藤大使は本國政府よりの訓令に基き愈々來る廿九日正午(日本時間卅日午前二時)をハル國務長官に手交する事となつた此重大通告を前に齋藤大使は嚴重沈默を守つてゐるが、通告と同時にハル國務長官に對し公式聲明書を發表し、華府條約廢棄の已むを得ない所以を指摘すると同時に、あくまで徹底的軍備縮少の實現を期する帝國政府の公正なる立場を闡明するものと見られる右公式聲明書の骨子は次の通りと確聞する

一、華府條約は十數年前の締結に成り、其後に於る國際狀勢の變遷、兵器の進歩により最早時代の情勢に適合せざるに至つた

一、帝國政府は以上の實情に鑑み玆に華府條約の廢止を通告するが、條約の廢止によつて無條約の状態を誘致するのは斷じて帝國政府の方針ではない、廢棄通告によつて「行條約に代る可きより良き協定の締成を切望してやまない、此見地より帝國政府は華府條約の基調を成す差等比率主義を排撃し各國海軍力保有量に共通最大限を設置する新軍縮方式を提唱する海軍力の徹底的縮減を期するのは帝國政府の不動の國策であり關係各國政府の贊成さへあれば全海軍を半減し、攻撃的武器たる戰艦と航空母艦を全廢するも敢て意とするものでない

吉田大使 渡米決定

【ロンドン廿五日發國通】吉田茂大使は廿九日ロンドン發のワシントン號で歸國の米代表と同船する事に決定した吉田大使の渡米で次期軍縮豫備會談で問題となる可き諸問題特に太平洋防備制限問題に關し日米間に折衝開始可能性ありとし注目されてゐる、米代表部では吉田大使の同船に特殊の意味は認めてゐないが、吉田デヴィス兩氏の見解交換に資するものと見られる

陸軍辭令

【東京國通】陸軍省辭令(廿六日附)

中華民國在勤 帝國大使館附武官輔佐官
輜重兵中佐 柴山兼四郎

參謀本部附被仰付
砲兵少佐 高橋坦

參謀本部附 補中華民國在勤帝國公使館附武官輔佐官
步兵少佐 岡田晟之助

滿洲國在勤 帝國公使館附武官輔佐官被仰付

外務省辭令

【東京國通】
外務書記官調査部第二課長 水澤孝策
任總領事命香港在勤

人事往來

▲石橋米一氏(電業重役)二十五日來京國都ホテル投宿
▲藤井岸治氏(關東局遞信局長)同上
▲久米成雄氏(奉天省總務廳長)同上
▲寺内久球氏(關東軍測量隊)同
▲丸尾義雄氏(同)同上
▲米内山震作氏(關東廳)二十五日午後二時三十分着撫順から國都ホテル投宿
▲杉村正氏(同上)同上
▲加藤嘉代次郎氏(德泰公司)同上
▲安間安五郎氏(東洋棉花會社)二十五日午後三時着ハルビンから國都ホテル投宿
▲三浦伊八郎氏(東京第一高等學校教授)同上
▲下田勝久氏(高等法院檢察官長)二十五日午後五時三十分着撫順から國都ホテル投宿
▲森本盛衛氏(同上書記)同上
▲高木恒則氏(ハルビン電業會社次長)二十六日午後三時着ハルビンから國都ホテル投宿
▲辻信義氏(實業部技手)二十六日午後四時着奉天から國都ホテル投宿

長岡代表 愈よ引揚げか

【バタビヤ廿六日發國通】日蘭會商は事實上打切引揚げ決定の長岡代表は廿四日ヤング總督を訪問して廣田外相のメッセージ傳達と共に歸國挨拶をなした、廿五日午後四時バタビヤを發し廿八日スラビア發、臺灣經由パナマ丸で歸國の豫定である、倘木村顧問は二十五日歸國した

國防上の不安なし（下）

廢棄後の日、英、米海軍關係

一、五、三の比率で建艦し日本を征服するといふがこんな出來ない相談はない、一九三六年末の日米勢力比較を見れば一目瞭然だ、主力艦、甲巡を除けば航空母艦乙巡、驅逐艦、潜水艦の比はパリテイ乃至それ以上で潜水艦の如きは一六割といふ優勢である總トン數に於て日本七一萬トン(一五四隻)米國百萬噸(二一五隻)であるが、艦齢内の艦船を比較すれば日本五九萬トン(一五〇隻)米國七三萬トン(一一三隻)となり比率は八割一分、隻數に於ては米國二一五隻の内艦齢内は右の如く一一三隻であるに對し、日本は全保有量が全部艦齢内の新鋭艦であり、戰鬪能力に於て米國は問題にならぬ、日本艦隊は全部一丸となつて戰鬪に參加出來るが米國のそれは新鋭老朽相混り老若混合軍では一致した艦隊行動は出來ないこゝに米國の惱みがあり、口に大言壯語するも力足らずの憾がある譯だ、日本側から見れば、若し三七年から無條約になれば、現有勢力の優越を利して米國のそれと對比して最も經濟的であり、我國獨自の得意とする必要艦種を選んで建艦すれば、勞少なく國防の安固を期し得られる、日本人の國民性に合致した潜水艦の大型を多數建造し軍の主力となる主力艦、甲巡は相手國のそれを參考に具合よく按配すれば、容易に國防と國民負擔輕減を達成する事が出來る、大角海相は「萬一無條約となれば三七年後は二億圓位の新規要求で日本の國防は安全だ」と云ひ去る十月廿九日の元帥會議で「條約廢棄するも國防不安なし」と奉答した事は此間の消息を雄辯に物語るものであらう

一、士氣の點に於ても眞に非常時を認識し皇國を守護せんとするところは米國のそれと較べものにならぬ

以上の如き諸理由に依つて、假令條約を廢棄するとも我に臨機應變の決意と準備がある譯で無條約、建艦競爭恐るゝに足らずである、英國とても同様である、けれども無條約は國民相互間の猜疑の念を釀め不安を助長するから、出來得る限りかゝる事を避け、徒らに不幸な事態を招來しない爲今次の豫備交渉が行はれてゐる次第である、國民は和親兩様に處して不動の信念を持すべきである

大藏疑獄決定書

年内に被告へ送達されん

【東京國通】大藏省疑獄事件は豫審訊問終了の後辯護人から再調べの要求があり、之に應じて居たゝめ本月二十日頃結審の豫定が遲延して居るが再調べの部分も一段落となり之に對する檢事の意見も求め御用納めの二十八日に間に合ふ樣極力決定書の作成を急いで居るので都合により一兩日の遲延はあるとしても年内には各被告の手許へ決定書送達の運となることは確實で玆に愈々空前の大疑獄事件は其の全貌が明かにされる事となつた尚決定書送達と同時に記事解禁となる筈である

蘭印總督に對する 外相メッセージ

【東京國通】會商經過報告及び對策協議の爲廿五日バタビア出發歸國の途に就いた長岡代表は出發に先立ち廿四日正午ヨンゲ蘭印總督を訪問歸國の挨拶を爲すと共に廣田外相よりヨンゲ總督に宛てたメッセージを手交し、歡談午餐を共にしたが、廣田外相のヨンゲ總督宛メッセージの内容は左の如くである

日本政府は今回長岡代表を一時引揚げしめるが、日蘭會商目的貫徹の爲將來とも間斷無く兩國の親善關係增進の念を以て出來る限り盡力する覺悟を有してゐる、故に蘭印側に於ても日本の眞意を諒解され同樣日蘭親善の見地より努力あらんことを確信し、且期待するものである

廣田外相のメッセージはヨンゲ總督に對し極めて深き感銘を與へヨンゲ總督は之に答へて次の如き意向を長岡代表に傳へ、廣田外相に傳達方を依頼した

日本政府當局が今回の會商

臺灣自治制 改革案大綱

【東京國通】臺灣自治制改革案は明年四月一日公布され、十月實施の段取りとなり、兒玉拓相は廿四日左の大綱を發表之が實施費十九萬五千圓は明年特別會計豫算に計上し通常議會に提案の豫定である改正案大綱

一、州郡市に議決機關とし州會と市會を置き街所には諮問機關とし街所協議會を置くこととす

社告

本紙年末年始に際し左の通り發行致します

二十九日		夕刊
三十日		休刊
三十一日		休刊
一日	(四方拜)	新年號
二日		休刊
三日	(元始祭)	休刊
四日		夕刊
五日	(新年宴會)	休刊

六日より平常通り

天氣

天氣 西の風晴
氣温 最高零下六度二 最低零下十四度一
日出 前七時十三分
日入 後四時〇七分
月出 前十時二十八分
月入 後十時二十三分

馬車夫と乘客 爭議に就て

最近客馬車夫と日本人乘客との爭議が目立つて多くなつたやうに見受けられるが、此問題は重大なる社會問題として看過出來ないものと思ふ、なんとなれば日滿親善を破壞するものは實にこの種下層社會に於ける些細な出來事から出發する場合が最も多いからである、吾人は相當立派な日本人が大道で馬車屋と口論しはては摑合ひの醜態を演じてゐるさへ見ることが稀らしくない、如何にも淺ましく情なく苦々しい限りだ、そこで吾人はその依つて來る原因を探究し、適切なる方法によつて革正さるべき日の一日も早く至らんこと冀ふと同時にこゝに公平な立場に立つて、聊か卑見を述べ一般の參考に資したいと思ふのである

凡そこの爭議の原因にもいろいろあらうが、その一は馬車夫の乘車拒絶、その二は乘車賃の不當要求、その三は乘客の乘逃げ又は無法支拂ひといつたもの、大底の場合はこの三つにあるやうである、而して吾人は右に對する解決案をこゝに卒直に披瀝する、

その一、新京に於ける馬車夫の横着極まるものあるについては贅言を要せないが、若しや吾人が五錢のスピアーを買はんとして煙草屋の前に立ち「お前には賣らない」と斷られた時はどうする?、客馬車を流して居りながら乘客の態度如何によつてワケもなく、唯一言「不去」「不拉」とにべなく斷られた場合、短氣な日本人として、鐵拳でもふるひたくなるのは誠に無理からぬことである、苟くも彼等の營業區域であり、乘客が規定の料金を支拂ふ以上、馬車夫として正當な理由なくしては絶對に乘車を拒むことは出來得ないはずだ、さればかうした「理由なくして乘車を拒んだ場合」の罰則を設けて、これによつて嚴重取締を行ふことが何より必要なものと思ふのである、とはいへそれには例外がないでもない、例へば挽馬の飼馬に歸宅の場合、點燈の時刻ランプの取付に歸宅の場合、中食、飲馬、休憩等の場合がそれだ、かうした場合の處置としては最も簡明な誰にも一目で知れる方法として赤旗か何かで一定の表示をなすべきことを吾人はこゝに提唱するものである

その二、馬車夫から不當な賃金を要求された場合は一体どうすればよいか、これは至極重大性に考へる必要はない多くの場合酒代の要求に過ぎないのであつて別に必要といふほどのものでない、少くも吾々日本人はそう善意に解釋しても宜しからうと思ふのである、そこでいざ要求された場合、客へは至つて簡單、ただ斷るまでのことだ、一言にしてわからなければわかる程度にいつてやるのもよい、敢てこれを毆打すべきほどではなからうと思ふ、否寧ろ三、四人で同車するとか荷物が多數あるとか、或は馬車屋に同情をさせられた時など、定額を額に取らず進んで大國民の襟度を示したものである

その三は無法な乘客に對する制裁である、心ある乘客は大抵規定の料金、いやそれ以上に支拂つてゐるやうであるか中には七、八錢或は十錢のところを無理强ひに五錢ですまさんとし、馬車夫が文句をいふと反對に暴力を以て壓へ或は室内に逃げかくれして室内から戸締りを嚴重にするといつた滑稽な場面さへめづらしくない、誠に言語道斷の沙汰といふべきだ、官憲で認可された一定の料金を正當に支拂はぬ乘客に對しては馬車夫は飽くまで抗議する權利がある、にもかゝはらず暴力を以てこれに臨むなどは不都合千萬な話で、かゝる者に對しては法律上の罪人として苛藉なく適法の制裁を加へるべきだ同時にこの安い賃金を踏み倒さうとするその卑しい根性に對して吾人は非日本人として宜しく社會的制裁を加へる必要があらうと思ふのである

序でに料金の問題だが現行賃率はたしか事變直後に改正されたものと思ふ、當時と現在とは大いに社會の事情を異にし、第一馬糧の如き昨年に二倍又は三倍し、馬車夫の給命も四、五割方は騰貴してゐる、どう考へて見てもたとひそれが短距離にしても二錢、三錢なんか今の時代にあり得ないことゝ思ふ、この際多少の改訂は余儀ないものとし、その代り馬車夫の素質を改善して、今後不良車夫をわが新京から一掃したいと思ふのである

發展途上にある都市の横顔（二）

伯林新聞の「新京印象記」

財政部管野氏譯

大使館の現代式西洋建築にはロマンテイックな日本式の屋根が附いてゐる、これは日本民族の二重生活のシンボルである、到る處に高い鋼鐵、木及び鐵の足場がある、空一面は横木、鋼鐵の棒で滿たされて居り、これをよぢ登る人、ハンマーを打つ人、たゝく人がゐる、彼等は又時にはコンクリートで凝めたばかりのプールに飛込む、このプールは新首都のために既に完成されたものである、日本の測量技師はこゝに冷い秋の氣候にでも泳ぎ廻つてゐる、テニスベースボールの運動場も亦この建築騷ぎの最中に常に滿員の盛況である、球は時たま假祭壇の角柱の間で起工式を擧げてゐる日本の神官の眼前に飛んでくる、神官の頭の方で支那苦力が探照燈を具へつけてある高い建築足場の上でどなつてゐる、日を夜についで新京は建設せられて行く

バビロン新京

新都は山東の苦力によつて建設せられてゐる、彼等の頭は既に秋風が吹いてゐるにも拘らず尚未だ暗褐色に日燥けしてゐる、彼等は石を碎き大理石の塊を運ぶ、彼等はこの石を遠くまで引きずつて行くがこの負擔に負けぬよう支那の呪文を唱へてゐる、日本の植民指導者は徒歩馬で足場の上に命令を下してゐる、支那苦力は滿洲に於て新日本のリズムに合せて躍つてゐる、彼等はこのバビロン建築の片隅に藁小屋と假の爐を設けて住まひ支那に於ける最高の勞銀よりも高い勞銀を得てゐるのである、彼等は長い車の列を組んで下水管鐵材、煉瓦、砂混砂粘土及び大理石を運んでゐる、貧弱なシベリヤの小馬はこの負擔に耐へかねて屢々倒れてしまふことがある、彼等には新京の最初の記念碑建立の權利がある、然し乍ら新京が記念碑を建てると彼等は最早姿を消すであらう、横濱神戸及び大阪に於ては既に新工場が建設せられ專ら滿洲國へ輸出のために自動車の製作が行はれてゐる、貧弱な小馬け滿洲國が毎日戴冠式であるかのやうに着飾つてゐる彼等は日本の日の丸、及び色とりどりの國旗（滿洲國々旗を示す）をつけてゐる

此處に日本が建つて行く

此處に滿洲國が建つて行く

日本の植民指導者の監督下に於てすら新京の建設は度々停止の狀態に置かれる、工事中ばにして新水道の敷設は變更されねばならなくなつた、支那苦力が大聖の墓を發見し、更に働からうとしなかつたためである大聖の精神に對しては國都も日本の植民指導者も眼中にないのである、水道敷設は遂に變更されねばならなかつた、他の一つの障害は多である、多が近づくにつれて工事のテンポは急激になる、寒冷なる新京の冬には建設の日が幾日もない、從て滿洲國に於ては一年の半分しか建設期がないわけだ

日本人の頭腦の働き

國都建設局には日本の建築技術員、建築家の本營がある、此處には支那人が殆ど見受けられない、建設局は殆ど全く製圖室で埋つてゐる、日夜日本人は大きな製圖板とにらめつこしてゐる、彼等は熟慮しては製圖し、熟慮しては製圖し殆ど休息なしに數字の計算をしてゐる、時には見本石の選拔に一群が作られることもある、一つ一つの石には日本人の名刺か貼り付けられてゐる、鈴木氏は己の手に道路舖装が委讓されることを希望し遂に一夜にして百萬の富を築きあげた

神戸海運會商 外務方面で援助

【東京國通】日蘭會商の難問題であつた海運問題は二十六日より神戸に於て兩國當業者間に民間會商が開催されるが蘭印側は海運問題の解決如何に依つてバタビア會商の續否を決定しやうとの態度を示してゐるので、外務省としても出來るだけ海運民間會商が圓滿に進行する樣側面より援助する方針である、蘭印側がバタビアに於ると同樣强引的な主張を繰り返すに於ては神戸會商の成功は覺束ないのみならず日蘭會商そのものも此上繼續する事は無意味となるので外務省では特に蘭印側の態度を注目し豫め蘭印政府の注意を喚起してゐる

ワシントン條約は何故日本に不利か

―海軍當局の見解―

【東京國通】日本海軍當局はワシントン條約が、日本に絶對に不利なる故、あくまでこれを廢棄せねばならぬとして次の如き見解を持してゐる

先づ現行條約が何故日本に不利なるかと云ふに

一、招請國たる米國の富國が軍縮の美名に隱れて自己の野望達成の手段に供したこと

一、近代科學の進歩によつて該條約規定の條項を以てしては到底日本の國防を安固ならしめず、常に强大軍備國のため劣勢國が脅威を受けて滿洲國と共同防衞の責任ある日本として條約量を以てしては東亞の平和を保障し得ない

一、軍縮の便法として同條約が採用した現有勢力（五五三）比率主義が便法を脱して軍縮の根本的ヤードスティックとなつた事

一、軍縮の三大目的たる戰爭の脅威除去、國民負擔の輕減、國際平和の確立に何等寄與しない

等との根本的事實であるからである、即ち

「米國政府は今次のロンドン豫備交渉でもワシントン條約は今日まで國際平和の維持に重大なる役割を爲し來つたものである」と云ふ建前を不動の方針とし、日本政府の廢棄方針に絶對反對の立場をとつてゐるが、これはとりも直さず該條約が今日迄日本を七割以上に縛り付け東亞に一旦緩急ある時は斷乎兵力を以て日本の發言を封ぜんとするものである

かゝる日本制壓の作爲的意圖に出發して出來た華府條約の何たるものかは自ら明かなものである

△帝國軍事國防の立場より考察せる條約の不合理性ワシントン條約を軍事的内容から見ては帝國政府の到底容認し得ない處である

即ち今日之を廢棄せんと決意するに至つた最大原因は比率主義による軍縮方針である、船舶、通信、航空機の進歩、滿洲國成立等の日本四圍の客觀的情勢の變化を併せ考慮する場合條約所定の六割を以てしては攻むるに足りない事は勿論、到底國防の最後の生命線すら安全に守護し得ない結果となる、彼等の目的は條約で日本を縛り東亞の政治經濟的優越を確保せんため密集部隊を輪型陣（リング、フオーメーション）にし、一擧太平洋の相手國を沈默せしめんとするにあつた、プラット大將（前軍令部長）も「米國は百年ならずして（短い意）支那を援けて戰ふことあるべきが故に比の五―三比率は讓歩すべからず」と喝破してゐる、兵器の進歩より見れば如何に太平洋防備制限ありとも、之は一種の氣休めで今日實際上には大して役立つてゐないのである、主力艦、航空母艦等長大な航續力と絶大な攻撃力とを併有する進攻的武器の質的制限では飽く迄防守を以て國防の建前とする我國にとつて大なる脅威で、この質的制限も甚だ不滿足なものである、比率主義は單にワシントン條約にのみ適用されてゐたならば未だ議論の余地もあるが之が後の補助艦保有量を決定せるロンドン條約にも適用される事となり日本は主力艦補助艦を通じ六割といふ屈辱的比率に甘んじなければならなくなり、遂には五、一五事件の如き不祥事を生出すに至つた就中守勢國日本として潜水艦の自主的所要量七萬八千噸を減ぜられた事は涙を呑んでもあきらめ切れぬものがあつた、こゝに於て比率主義は國防の安全感を脅威し國民負擔を重加するといふので、帝國政府は斷乎廢棄をなすに至つたものである、過去の苦い經驗に基く方式でワシントン條約の不合理性を遺憾なく暴露せんがため、此處に今後の新軍縮方式たるべき要點をすくつて再認識して見やう

一、比率主義撤廢 國防自主權を基準とする軍備平等の原則を確立すること、差別比率主義は獨立國家の面目を失墜するものであるが故に各國は國防安全感を充足せしむべき必要且つ自主權軍備をなす權利を認める事

一、獨立國家間の條約としては各國は實質的軍備均等なるべし

一、主力艦 航空母艦の全廢乃至極度の縮減を計り國民負擔の輕減と攻撃的武器の廢止を計る

一、今後の軍備は乙級巡洋艦（一萬トン六吋）以下驅逐艦潜水艦のみを存置すべく相互不侵略の軍備となすべしそして各國保有トン數は總トン數主義により各國保有量共通最大限度を設定し（例へば百萬トン）その間で各國の地理的特殊事情を考慮し自己の欲する艦種並に保有量を自由に決定することゝし以て「守るに足り攻むるに足らざる」軍備を確立せんとするにある

華府條約を何故廢棄する（其の二）

寡を以て衆を破り得る事も勿論あるがこれは寡の方の勢力が實的に餘程優れて居る時である、例へば歐洲大戰當時のジユツトランド沖の海戰でイギリスの巡洋戰艦クキーンメリーは僅に三彈の命中で一瞬間で爆沈してしまつたが、其頃竣成したばかりのドイツの巡洋艦ルッツオーは十丁彈を受けたが十時間も戰鬪を繼續する事が出來た

然し量質共同等の海軍力の下に於ては右の樣な事は望まれぬ例へば同じ種類の六隻の軍艦と十隻の軍艦とが對抗して戰鬪するとする、敵味方が一分間に相手方に與へる損害を百分の五と假定して此加害を双方から減じて行くと十分の後には六隻の方は全滅して了ひ十隻の方は七、五七と云ふ勢力が殘る計算となるのだ、斯の如く互に素質の同じ兵力が對抗すると其の兵力は數の自乘になつて働くから實際に六割海軍で十割の勢力に對する事は不可能だと云ふ事になるのだ

一、最近十餘年間に艦船兵器の進歩が著しいものがある一例を擧ぐれば華府會議當時主力艦の航續力ですら僅か一萬浬以内であつたものが今日では可成りの高速力で二萬浬の航續力を有するに至つたから太平洋を往復して尚數千浬の餘裕がある故に當時日本は太平洋諸島の防備制限を行へば大した脅威を感ぜぬものとして六割比率の海軍力受諾に應じたものである、而して最近の主力艦は飛行機を搭載して居り又有力な砲を有して居り、又航空母艦の發達があり斯かる客觀的狀勢の變化は到底十餘年前の條約を此儘守つて行く譯には行かぬのである

一、最後に國際狀勢の變化がある、華府會議當時は歐洲大戰直後であり世界は自由平和の理想に支配されてゐた、日本としても國際平和は元より望む處であるから世界平和の爲め忍ぶ可らざるを忍び列國と協調して來たが支那は華府會議後排日排日貨等あらゆる侮日態度をほしいまゝにした

斯くして我國が折角極東平和の維持安定に盡さんとの誠意は事々に崩壞され全く水泡に歸し之れに加ふるにソ聯邦が又傍若無人の振舞をなして日本を刺戟した、此結果が遂に滿洲事變の導火線となり今日見るが如き極東政治情勢の一變を來したのである、滿洲事變に引續いて起つた上海事變當時米國々務長官スチムソン氏は日本に對して非常に强硬なる態度を以て臨む可く内閣會議を開いた、その席上海軍作戰部長プラット大將が「日本の海軍力の方が遙に優勢ではないが此處五六年の間アメリカの海軍は日本と戰つても到底勝てぬ」と言つたので折角日本に對して武力的壓迫を加へ樣とした計畫が頓挫してしまつたと言ふ例がある

斯の如く滿洲の成立した今日日本は極東に於て絶對に他の脅威に屈せぬだけの自主的兵力を有せねばならぬ事が痛感されて來たのである此處に華府條約を廢棄せねばならぬ最大の理由と根據がある事を國民は銘記せねばなるまい（完）

滿洲國辭令

財政部屬官 佐々木四郎
給九級俸
財政部屬官 近藤政三
給七級俸
財政部屬官 千葉義純
同 山田清作
給月俸八十五圓（各通）
財政部屬官 島敬二郎
給月俸七十五圓
財政部屬官 金九功
給九級俸
財政部屬官 原田武雄
給月俸八十五圓
財政部屬官 谷龍男
給月俸七十五圓
財政部屬官 池本一
給十級俸
財政部屬官 朴麟
給月俸七十五圓
財政部屬官 今村茂雄
同 有田利一
給五級俸（各通）
稅務監督署屬官 鹽島男次郎
給四級俸
稅務監督署屬官 針谷隆夫
同 內藤信興
給三級俸（各通）
稅務監督署屬官 岩下伊吉
給五級俸
稅務監督署屬官 末永善三
給四級俸
稅務監督署屬官 森藤航三
同 鈴木伊太郎
同 林康保
給月俸百十五圓（各通）
稅務監督署屬官 吉田均一
同 齋藤正治
給月俸九十五圓（各通）
稅務監督署屬官 關口松夫
給八級俸
稅務監督署屬官 山中信雄
給月俸八十五圓
稅務監督署屬官 小澤肇
給八級俸
稅務監督署屬官 白井金彌
給月俸八十五圓
稅務監督署屬官 坪川佐吉
給三級俸
稅務監督署屬官 三木廣一
給四級俸
稅務監督署屬官 箕輪治
給六級俸
稅務監督署屬官 松崎達二郎
給四級俸
稅務監督署屬官 余田金治
同 片山賀吉
給三級俸（各通）
稅務監督署屬官 玉城進
給月俸九十五圓
稅務監督署屬官 竹下正三九
給八級俸
稅務監督署屬官 合田益武
給七級俸
稅務監督署屬官 橋本駒夫
給月俸八十五圓
稅務監督署屬官 富岡博
給七級俸
稅務監督署屬官 藪本行三
同 神宮司泰藏
給五級俸（各通）

偶語

滿洲國官吏消費組合が來年一月一日から生れる いふまでもなく組合員組織によつて共同の力で品物を廉く仕入れ、これを分配しやうといふのである▼その趣意書にも共存共榮とか相互扶助とかを强調してゐるやうだが、この組合設立によつて直ちに影響を受けるのは一般小賣商人達である▼このことについて發起人側では卸商人邊りから寧ろ設立要望の聲さへあり、大した問題にもならぬとはいつてゐるが、しかし一般商人に代つて消費組合から得るとすれば當然影響は免れない▼尤も消費組合と一般商店との物價に余り懸隔がないとすればそれだけ影響も少いわけだがそれでは折角消費組合を結成した意義をなさないことになる▼といつて滿鐵消費組合があゝして堂々とやつてゐる以上同じ目的の新組合が生れるからとて眞正面から反對する權能もない、こゝもと一般商人に取つての惱みが加つたわけだ▼今後かうした組合が各所に券立されその勢力が增大すればするほど一般商人が浮ぶ瀨がなくなるわけで、內地大都市に於ける百貨店問題以上ゆゝしい事件であり▼蓋し一般商人側、輸入組合あたりか果してどんな對策に出るかと見ものであらう

東滿

圖寧線竣工式と殉職者慰靈祭

閑院宮より祝電、弔電を賜ふ

さる十八日寧北で開かれた圖寧線軌道敷設竣工式に當り閑院參謀總長宮殿下から寧北建設事務所長宛左記祝電を賜つた

圖寧線の開通は日滿兩國のため誠に欣幸とする所にして衷心祝意を表すると共に之に關與せし各員の心勞を多とす

なほ十七日圖寧線建設殉職者慰靈祭執行された際は滿鐵總裁宛左の御弔電を賜つた

圖寧線の竣工に際し其の建設工事間に於て喪はれたる幾多の犧牲者を想ひ衷心哀悼の意を表す

受護村長延吉受護區　李圭榮
圖門愛護區第十第五甲長　林清順

吉林高師 第二期生募集

【吉林國通】滿洲國の最高學府たる吉林高等師範は今回更に第二期生を募集師範學校、高級中學校、實業學校及び初級學校教員の有資格者を養成することになり、去る十二月一日來各省教育廳に對しこれが詮衡方を依頼中であるが、愈々來る卅一日を以て締切る豫定である

新吉林省の政治工作

【吉林國通】東南防衛地區の治安工作は過般來愈々各地區共本格的工作を開始したので吉林省公署ではこれに通牒して政治工作を實施することゝなり各廳より日滿十名の工作員を詮衡し、この程多大の期待を擔ふて各地區に向け派遣したが省公署に達した第一報に依れば各工作員何れも悲壯な決意の下に愈々近く現地工作に入る筈でありその活躍は新制省政治工作の第一班として尠からぬ注目が拂はれてゐる

吉林省行政會議開會

【吉林國通】吉林省では王道政治の徹底を期すべく管下十七縣の縣長を召集、廿五六の兩日に亘り吉林クラブに於て新制度の行政會議を開會中である、之に依り新省行政方針の大綱が決せられるものとして全省民より注目を惹いてゐる、尚今回より行政改革に依り新たに吉林省に編入されたなぞの秘境コロロツ前旗の二エシサラスン王も出席、蒙古服、辮髪に異彩を放つてゐる

怪外人二名

三個頂子山の鉛鑛を調査

【吉林國通】過日吉敦線烟筒山驛へ二名の怪外人現はれ密かに同地西方約六キロの三個頂子山の鉛鑛を調査した上詳細に撮影した事實あり探査の結果右はハルビン亞細亞洋行の計理及び支配人にして國籍はドイツ、換國人であるものの如くであるが時節柄右二名の怪外人の活動は注目されてゐる

北鮮と東滿 電話連絡なる

【圖門國通】待望久しかりし北鮮と東滿洲との電話連絡は廿五日午前九時圖門電報局で清津との間に開通試驗通話を行つた、電々本社より松尾副參事來場、圖門清津とも官民各機關代表及新聞記者臨席、各々挨拶を交換し非常の好成績で此の歷史的通話を終了した此の鮮滿電話連絡開始により鮮滿貿易上に一革新を見るであらう、圖門局では即日一般市民の北鮮各地との通話を取扱ふ

吉林省十七縣 等級決定

【吉林國通】吉林省十七縣の等級は省公署に於て嚴重査定の結果左の四等縣に分規された

甲等縣　永吉、長春、扶餘
乙等縣　德惠、磐石、楡樹
丙等縣　懷德、雙陽、伊通、農安、長嶺、舒蘭、額穆、敦化
丁等縣　乾安、樺甸、九臺

新吉林省面積調査終る

【吉林國通】新吉林全省十七縣の面積は省公署に於て正確を期し調査中のところ此の程漸く完了二千七百五十二萬九千百二十滿方里(日里五十九萬三千三百方里)と判明した

鐵路愛護運動の功勞者表彰

【圖門國通】二十一日正午から總局圖門辨事處の鐵路クラブに於て開催された鐵路愛護村長並に顧問會議の席上、鐵路愛護運動の强化と、同思想の普及を圖り、以民護路の實を擧げた、康德元年中に於ける功勞者を表彰したが名譽の表彰者は左の諸氏である

圖門愛護區第十保甲長　石夢虎
韋子溝愛護顧問 朝鮮人民會長　黄龍三
磨盤山愛護區　小野坪

北滿

都市建設費に一千五百萬圓計上

【ハルビン國通】ハルビン市公署では大ハルビン建設につき先般來鋭意研究中であるが上下水道その他三ケ年繼續の都市建設費として一千五百萬圓を計上してゐる

ソヴイエート陰謀事件 益々擴大

【ハルビン國通】モスクワ廿五日發電に依れば勞農獨裁官スターリン一派の政策に反對の烽火を擧げた陰謀事件は益々擴大し多數の官吏及び各大學教師多數もゲ、ペ、ウに檢擧された事件は全國的に波及せんとする形勢にある、尚カーメネフ、ジノヴイエフ巨頭の罪狀明白となつた上は銃殺又は國外追放は不可避的とされてゐる

北鐵當局で機械油入札

【ハルビン國通】北鐵當局では各種機械油約八十一萬瓩の入札を來る一月十五日行ふ

事となつたトムスク鐵道 事故頻々 不穩分子の所爲

【ハルビン國通】ソ聯の工場勞働者の機關紙とされてゐるグドツク紙所報に依れば本年五月シベリアトムスク鐵道沿線に於る列車脫線事故は五百六十六回、九月の事故は四百九十二回に達し昨年度に比較すると列車脫線事故は約六割二分增加し其原因は地方に於る不穩分子及び從業員の故意の所爲に依るものであると云はれてゐる

密山方面歸順匪

【ハルビン國通】密山方面で今日までに歸順した匪賊は約三百六十名に達すると

拂資本家來滿

【ハルビン國通】フランス資本家ソセン氏は來る二十九日頃パリより來滿する豫定の由である

南滿

三勝の部下

奉天憲兵隊に捕はる

【奉天國通】奉天憲兵隊では神聖なるべき小學教員が滿洲國兒童に反滿抗日思想を盛んに鼓吹しつゝあるを探知し本月初旬より内偵を進めた結果東北民衆救國會第三旅首腦として南滿地方を荒した三勝の參謀長吳凱元(三六)が奉天小南關市立八旗小學教員の假名に隱れて策謀中なるを逮捕取調べの結果、遂に犯行の一切を自白した、吳は三勝の殘徒熱河、北平方面を流れ歩いた後、本年四月頃奉天に舞戻り三勝の未亡人吳陳化(三一)と情的關係を結ぶと共に本妻たる張鳳儀(二二)を呼び寄せ一家を構へなに喰はぬ顏にて月給二十圓を以て前記八旗小學校教員となり巧みに當局の眼を逃れつゝ教壇より反滿抗日の思想を兒童に吹き込む一方北平軍事分會王化と連絡を執り自身の妻女並に三勝未亡人を操つて滿洲國内情報を蒐集して北平と秘密連絡を執り反滿策謀に暗躍を續けてゐたもので一兩日中に取調べ完了次第身柄を滿洲國側警察に引渡す筈である

稅關吏應援に赴く

【營口國通】營口稅關は營口港の結航と共に事務閑散となりたるため吏員のうち六十一名は多期中安東、大連、山海關の三稅關に分割應援に赴く事となつた

滿洲東方の大玄關

清、羅、雄、三港見學記(十二)

在新京　十五郎生

漁港は東海岸にありて大正六年工度費六萬三千圓を投じて防波堤を築造したが遂に波にさらはれて用をなさず、昭和三年更らに五萬圓を投じて再築したるも有効面積僅かに三千六百餘坪に過ぎず、然るに最近に於ける急激なる漁業の發達は此小規模の漁港を以て滿足すべきに非ず、當地漁港の北洋無限の遺利開拓上の重要性に鑑み根本的擴張の必要を感じ、昭和八年度より二箇年繼續事業として百萬圓を計上して新輸城川尻に國際的大漁港場を新設せらるゝ事となり目下着々施工中で之れが完成の曉は當地方水產界の發展は刮目すべきものありと云ふ沿岸の貨客の乘降は從來船舶及私設棧橋に依て陸揚げしたのであるが、近時地方の開發と產業の發達に伴ひ、清津港を基點として雄基羅津其他諸港との定期沿岸航路益々頻繁を加へ、爲に完全なる埠頭設備を必要とし府に於ては二十萬圓の工費を計上して目下施工中であるが、竣工の曉には地方產業の振興上貢獻する所多大なるべしと云ふ

清津港の氣候は冬季は一月が最も寒く極寒零下十九度三、平均零下七度位で、零度以下を示す月は、十二、一、二、三の四ケ月で夏期の最高溫度は三十度(華氏八十六度)位にして、其七月中と雖も平均溫度は二十度位なるを以て、夏冬共に凌ぎ難き程の溫度にあらず、極寒の候と雖、港内結氷を見ず、海洋性氣候に見舞はれて海風の調和に依り寒暖を調節さるゝが故に暮らしよき氣温なりと云ふ

▽……△

水產業は流石に發達し船舶業者、漁業者、水產製造業者、船舶漁具業者等比較的に多數を占め漁獲の重なるものは、鰯の年額百二十一萬圓を最高とし、次に鰈の十八萬圓、次に鯖の十五萬圓、次に鰊、柔魚、其他蝦明太等を特產とし非常に安價である、以上漁業收獲高は約八十一萬圓にして水產製造業赤盛んにして素乾品、鹽乾品鹽藏物罐詰物、鹽辛物等約二百萬圓、尚工產品としては動物油脂の六十五萬圓、動物質肥料七十五萬圓、水產工產品五十三萬圓、以上合計五百七十四萬圓の多きに達す、(以上昭和八年統計に依る)本港に出入する船舶の隻數を計上すれば左の如し

航路	隻數
清津雄基間	一、九三〇
大阪清津雄基間	二四〇
雄基清津敦賀間	六八
東京清津雄基間	四四
元山清津伏木間	三五
城津清津敦賀間	八
城津清津雄基間	一三
大阪浦塩清津間	三三
清津下關間	五〇
元山清津雄基間	一六
清津伏木間	二一
清津大阪間	二五
清津敦賀間	五五
其他省略	
合計	一、六七〇

鐵道貨物發着噸數は發送噸數七三、七六三、到着噸數一八三、五三八、にして内發送貨物中の第一位を占むるものはセメント、第二位が小麥粉、第三位が鹽魚介、次は鹽、次は粟等にして、到着貨物中、第一位を占むるものは大豆、第二位木材、次位は粟、次は米の順序なり、貿易額輸移出額九、七六九、八二九圓、輸移入額一五、八二六、三七一圓、合計二五、五九六、二〇〇圓なりとす、沿岸航路には清津、羅津雄基を往復するものに第一第二羅津丸、白鳥丸松丸、新興丸等あり、賃金二等三圓、三等二圓

▽……△

日本内地との連絡航路

一、命令航路

朝鮮郵船株式會社
雄基—大阪線　月三回
雄基—東京線　月一回
清津—敦賀線　月一回

北陸汽船株式會社
伏木—浦鹽—北鮮線　年二〇回

島谷汽船株式會社
北海道—北鮮線　年一八回

北日本汽船株式會社
敦賀—北鮮線　月三回
敦賀—浦鹽—北鮮線　年三回

二、自營定期

朝鮮郵船株式會社
雄基—東京線　月一回
雄基—名古屋線　月一回半
新潟—北鮮線　月二回

北陸汽船株式會社
伏木—北鮮線　月二回

島谷汽船株式會社
新潟—北鮮線　月三回

大阪商船株式會社
大阪—北鮮線　月六回
北鮮—關門—阪神線　週一回
東京—北鮮線　月二回
台灣—九州—北鮮線

三、其他自營不定期航路　廿五日一回

▽……△

清津遊園地としては高抹山公園である、市の東南高抹半島の中腹にあり、登攀一望すれば新舊市街を一眸の下に收め新興の氣分溢るゝなり、港内百千の船舶を鳥瞰し渺茫たる鏡城平野を隔てゝ遠く白頭の連峰を仰ぐべく、風光人心を醉はしむるに足る、公園に接して清津神社あり老松一帶神寂ひて尊し

鷲陽丘公園は市の中央雙燕山中腹にある雄大なる公園である春秋紫紅の野花滿山を彩りまして、四國八十八箇所の石佛綠樹の間に點在して賽者跡を絶たず

清津所感

◇生きながら氷る魚の市場かな
◇海越しに仰ぐ白頭の天寒し
◇燈台を凍靄二つに裂け漁ひぬ

ラヂオ

二十七日(木曜)新京

(午前之部)

六、五〇　ラヂオ體操(東京より)
七、一〇　ラヂオ體操(滿語)
八、三〇　經濟市況(東京より)
八、四五(日滿語)天氣實況(奉天より)
九、三〇　演藝(レコード)(滿語)
一〇、〇〇(日語)料理獻立(奉天より)
一〇、四〇　經濟市況(東京より)
一〇、五九　時報(東京より)
一一、〇一　經濟市況(東京より)
一一、三〇　ニュース(大連より)(滿語)
一一、四〇　ニュース(東京より)
〇、〇〇　經濟市況(大連より)

(午後之部)

〇、〇五　經濟市況(日語)
一、〇〇　演藝(滿語)　艷春院　少云
一、一五　ニュース(日語)
二、〇〇　經濟市況(大連より)　魚藏劍
二、二〇　成人講座(滿語)　權度局　趙承　度量衡及計量之關係
二、四〇　日用品値段(日滿語)
二、五〇　經濟市況
三、二〇　ニュース(東京より)
三、三〇　ニュース(日語)
三、五〇　經濟市況(大連より)
四、〇〇　經濟市況(日語)
四、一〇　ニュース(鮮語)
四、二〇　ニユトス(滿語)
四、四〇　滿語講座　講師　高宮盛逸
　　　　日語講座(奉天より)
五、〇〇　子供の時間　近藤喜助(滿語)
　　　　同
合唱と童話　新京特別市立第十四小學校
指揮　校長　曲治緜
伴奏　教諭　張紹牛
一、滿洲國歌　四年生懷春　外六名
二、童話　四年生史長春
　　慢牛　三年牛陳學周　外六名
三、日本國歌
四、童話　四年生安鳳閣
　　三椿離婢的事
五、三〇　氣象通報
五、三〇　番組豫告(日語)
五、三五　氣象通報
　　　　番組豫告(滿語)
六、〇〇　ニュース(東京より)
六、二〇　政府公報(滿語)
六、三〇　講演(東京より)
　　本年にかけろ應用化學進步の回顧　理學博士　田中芳雄
七、〇〇　新派劇(大阪より)
　　月蝕　菊池幽芳原作
　　第一、久松喬の家
　　第二、日光華嚴道六地藏附近
　　第三、土浦在川上農園
　　配役
　　伯爵梅小路勝文　大井新太郎
　　理學士正木貞雄　高田實
　　陸軍少佐久松橋　都築文男
　　久松喬妹田鶴子　梅野井秀男
　　陸軍中將大河内景則　熊谷武雄
　　陸軍少將川上益荒　小織桂一郎
　　久松の妻倭文子　木下喜助
　　子爵松平亮二郎　元安豐
　　其他出演者　大倉文雄　前田陸太郎　富士川滿惠　伏見正光　東光雄　木村義雄　御門啓輔　前田壽榮子　富士野芳夫　外蝶子連中　長谷川幸延
　　解說
八、〇〇(第一席)連續講談
　　御色並演出　神田伯龍
八、三〇　時報、ニュース(東京より)
　　天保六花撰
八、四五　ニユース(日語)
九、〇〇(滿語)國民の時間
　　瀋陽縣長　尹永禎
九、一五　ニュース
　　新省制度實施之所感
九、三〇　演藝(滿語)
　　番組豫告(滿語)
　　雙玉班　王別姬　絹
九、五〇　ニュース(英語)
一〇、〇〇　北滿の時間(ハルビンより)
　　講演、演藝、音樂、ニユース